

第5回

歯科衛生士勤務等実態調査結果 報告書

令和4年3月

公益社団法人兵庫県歯科衛生士会

はじめに

兵庫県歯科衛生士会では、平成 13 (2001) 年から 5 年ごとに「歯科衛生士勤務等実態調査」を行っており、5 回目の調査となりました。

今回は、近年の歯科衛生士を取り巻く環境の変化に伴い、新型コロナウイルス感染症などを踏まえ、就業状況、労働条件、業務の実施状況、感染予防対策の実態等を調べ、本会の事業に反映するなどの基礎資料とすることを目的に実施しました。

これまでの調査方法は、紙面調査のみを行ってきましたが、このたびは、Web 調査及び紙面調査の選択方式とし、令和 3 年 10 月 1 日現在で、常勤、非常勤、未就業に分けて回答を得ました。

調査内容は、第 4 回 (平成 28 年度) までの調査では、当時の会員管理委員会が担当し、調査内容の検討・データ入力・調査結果のまとめを行っていましたが、本調査では、会員数の増加、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い委員会の開催が制限されたために、主に役員を中心とした特別委員会を 3 回開催し、理事や委員会の意見も参考に調査内容や方法について検討しました。

調査内容は、公益社団法人日本歯科衛生士会が、令和元年度に行った「第 9 回歯科衛生士の勤務実態調査報告書」及び別冊の都道府県別集計表結果と重複しないように配慮しました。

データ入力は、会員拡大委員会が Web 調査データに紙面調査を追加入力し、入力データの集計及び分析は、神戸常盤大学短期大学部に依頼し詳細結果として掲載しました。

本報告書は、調査開始からの 20 年間の調査項目を表にまとめて比較し、推移や動向を確認する資料としました。しかし、報告書やデータとして残っているものが少なく、一部類似した項目データを引用しました。また、調査年の社会的な背景等が調査内容に反映され比較に該当しない項目も掲載しました。

今後、この貴重な調査結果を主要な機会に報告するとともに、次年度以降の事業計画の基礎資料といたします。

今回の調査は、過去の調査の中で最も回収率が高い結果となりました。県下 10 支部の協力と会員の皆様のご理解とご協力の結果と感謝しています。

最後になりましたが、特別委員会には、前期まで本会理事として長年お世話になりました兵庫県歯科医師会の高橋研之先生にオブザーバーとしてご出席いただきご指導・ご助言をいただきましたことにお礼を申し上げます。

令和 4 年 3 月

公益社団法人兵庫県歯科衛生士会

会 長 高 橋 千 鶴

第5回 歯科衛生士勤務等実態調査

1 調査の目的

本調査は、平成13（2001）年から5年毎に行っており5回目の調査となる。今回は、近年における歯科衛生士を取り巻く環境の変化に伴い、新型コロナウイルス感染症によるものなどを踏まえ、就業状況、労働条件、業務の実施状況、感染予防対策の実態等を調べ、本会の事業に反映するなどの基礎資料とすることを目的に実施した。

2 調査方法

調査方法は、Web調査及び紙面調査の選択方式にし、令和3年10月1日現在で、常勤、非常勤、未就業に分けて回答を求めることとした。

Web調査は、QRコードを常勤・非常勤・未就業に分類し、電子媒体により調査を行った。紙面による調査は、常勤・非常勤・未就業のすべての調査票を全員に送付し、該当する調査票を無記名の封書により回答を得た。

- ・常勤の方（正規・任期付き雇用・会計年度雇用 など）・・・問54
- ・非常勤の方（パートタイム・任期付き雇用・会計年度雇用・地域活動歯科衛生士・臨時雇用（不定期）など）・・・問59
- ・未就業の方・・・問22

3 調査内容

第4回（平成28年度）までの調査では前会員管理委員会が担当し、調査内容の検討・データ入力・調査結果のまとめを行っていたが、本調査では、会員数の増加、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い委員会の開催が制限されたため、今回は主に役員を中心とした特別委員会を3回開催し、調査内容や方法について検討した。

公益社団法人日本歯科衛生士会が、令和元年度に行った「第9回歯科衛生士の勤務実態調査報告書」及び別冊の都道府県別集計表結果と重複しない内容とした。

【参照】巻末の調査票

【参考】令和元年度「歯科衛生士の勤務実態調査報告書」及び別冊（日本歯科衛生士会）

4 調査対象者

兵庫県の会員（令和3年10月30日）全員（悉皆調査）の調査とした。

5 調査実施日

令和3年11月18日（木）～令和4年1月5日（水）必着

6 調査回収数

発送数：1,257人

回収数：723人（回収率57.5%）

支部別調査回答数（回答率）

	調査 配付数 (人)	回答数 (人)	有効 回答率	回答の内訳		
				常勤 (人)	非常勤 (人)	未就業 (人)
神戸	364	194	53.3%	111	68	15
阪神南	215	140	65.1%	60	71	9
阪神北	93	66	71.0%	27	35	4
東播磨	204	112	54.9%	56	45	11
北播磨	95	54	56.8%	23	26	5
中播磨	131	48	36.6%	22	18	8
西播磨	62	36	58.1%	17	18	1
但馬	40	36	90.0%	12	21	3
丹波	31	25	80.6%	15	9	1
淡路	22	11	50.0%	7	3	1
無回答	—	1	—	1	0	0
計	1,257	723	57.5%	351(48.5%)	314(43.4%)	58(8.0%)

7 倫理的配慮

本アンケートは無記名とし、個人が特定できないように回答方法等に配慮した。

8 調査主体

公益社団法人兵庫県歯科衛生士会（特別委員会）

オブザーバー（兵庫県歯科医師会） 前 本会理事 高橋 研之

本会調査担当者

会 長	高橋 千鶴
副 会 長	岩崎小百合
副 会 長	栗原 知子
専務理事	清水 豊子
常務理事	野末 優子
常務理事	石井 美和
常務理事	澤田真由美
理 事	都倉美佐代

9 データ入力

担当役員及び会員拡大委員会が、Web調査データに紙面調査データを追加入力し、集計・分析データとしてまとめた。

(会員拡大委員会)

委員長	北 香緒里
委員	肥塚美奈子
委員	中川由美子
委員	瓦田 彩加
委員	高田 優海

10 集計・分析

神戸常盤大学短期大学部口腔保健学科（令和4年4月以降は、神戸常盤大学保健科学部口腔保健学科）に集計・分析を委託した。

11 公表

- (1) ダイジェスト版は、兵衛だよりに掲載
- (2) 報告書としてホームページへ掲載
- (3) その他

調査開始からの主な共通項目の比較および新項目の追加

平成13年度から5年毎に実施した調査結果が、報告書やデータとして十分に残っていなかったため、一部、類似項目に置き換えて比較データとした。

	主な共通項目	H13	H18	H23	H28	R3
回答結果	配付数 回答数 (回答率)		894人 440人 (49.2%)	918人 521人 (56.8%)	1121人 617人 (55.0%)	1257人 723人 (57.5%)
	最も回答の多い年齢		41～45歳 (20.9%)	51～60歳 (20.0%)	51～60歳 (26.1%)	50～54歳 (16.3%)
家族	配偶者の有無(有)		62.0%	63.1%	65.3%	-
	子どもの有無(有) (18歳未満)		44.3%	60.1%	64.8%	-
最終学歴	最終学歴 (歯科衛生士以外も含む)		専門学校 6.6% 2年制専門学校 84.8% 短大卒 6.6% 大学卒 5.0% 修士課程修了 2.5%		専門 83.4% 短大 15.3% 大学 1.3%	専門学校 77.9% 短期大学 9.5% 大学 5.0% 短期大学(選考科) 4.6% 大学院修士 1.8% 専門学校以外 0.4% 大学院博士 0.3%
就業状況	現在の就業状況		常勤 58.4% 非常勤 41.6%	就業している者 85.6%	常勤 49.2% 非常勤 45.1%	常勤 48.5% 非常勤 43.4%
	就業施設数		-	1か所 68.6% 複数 30.7%	1か所 63.9% 複数 35.4%	1か所 42.0% 複数 57.6%
	就業先		歯科診療所 61.2% 保健所・センター 14.0% 病院 11.3% 養成機関 2.8% 社会福祉施設 2.5%	歯科診療所 65.0% 病院 12.3% 行政 10.5% 養成機関 2.9% 介護施設 2.5%	歯科診療所 63.5% 病院・大学病院 14.0% 行政(保健所・市町) 9.0% 養成所 3.5% 社会福祉施設 1.5%	歯科診療所 66.9% 行政(県・保健所・市町) 18.8% 病院・大学病院 13.8% 障害者歯科診療所 7.8% 介護保険施設 6.5% 養成機関 5.0%
	歯科衛生士として就業した延べ年数	10.5年	12.5年	15.2年	18.3年	14.8年
	就業している者の割合	82%	82.5%	85.6%	88.3%	92.0%
	現在勤務している診療所での年数	7.9年	7.5年	8.3年	9.9年	-
	就業規則の有無(有)		61.2%	64.6%	63.7%	確認 59.4%
	有給休暇の有無(有)		48.5%	53.8%	55.1%	70.4%
1週間の勤務日数		5日 50.7%	5日 39.2%	3.95日	非常勤 4日 22.3日	

主な共通項目	H13	H18	H23	H28	R3
1日平均就業時間		4時間以上8時間未満 33.9% 8時間以上10時間未満 26.2%	4時間以上8時間未満 28.0% 8時間以上10時間未満 21.3%	4時間以上8時間未満 23.0% 8時間以上10時間未満 17.5%	<u>非常勤のみ</u> 4時間以上8時間未満 64.7% 8時間以上10時間未満 17.0%
特別休暇の有無(出産・夏季・育児等)		39.7%	45.1%	44.0%	70.4%
残業の有無(有)		48.8% 月の残業時間 12.5時間	50.7%	52.7%	67.4%
残業手当の支給		77.4%	80.1%	75.5%	69.9% 月20～30時間 8.6%
給与形態		月給 61.2% 時間給 26.7%	月給 54.7% 時間給 30.0%	月給 51.6% 時間給 40.0%	非常勤 月給 16.6% 時間給 72.9%
諸手当の有無(有)		75.5%	76.2%	76.1%	常勤 98.4% 非常勤 65.1%
平均時間給		1,232円	?	1,370円	1,561円
年収		130万以上300万円未満 36.4% 130万未満 27.3%	130万未満 35.2% 200万以上300万未満 16.4%	主な就業先の年収 130万未満 35.9%	常勤 300万以上400万未満 38.7% 200万円以上300万円未満 27.4% 非常勤 100万円未満 31.2% 100万円以上130万円未満 29.0%
有給休暇の有無(有)		48.5%	53.8%	55.1%	70.4%
有給休暇の年間取得日数		有給休暇の日数 14.7日		年間平均 14.4日 取得日数 6.6日	6.7日
訪問診療	訪問歯科診療に従事			34.1%	35.5%
	訪問診療を行う勤務形態			常勤 35.1% 非常勤 59.5%	常勤 25.0% 非常勤 46.2%
	訪問診療の内容			口腔ケア 27.9% 診療補助 15.7% 摂食嚥下 7.8%	口腔衛生管理 8.4% 口腔機能管理 4.9% 訪問診療補助 3.4% 摂食嚥下機能訓練 2.3%
	訪問診療の場所			高齢者施設 24.5% 在宅 19.1% 病院・診療所 8.8%	高齢者施設(入所・通所型) 12.6% 居宅 6.9% 障害者施設 1.6% 病院 1.4%

主な共通項目	H13	H18	H23	H28	R3
定年制の有無（有）	-	-	-	-	32.6% 常勤 60歳 73.0% 65歳以上 24.5% 非常勤 60歳 59.3% 65歳以上 38.9%
退職金制度の有無（有）		40.5%	42.8%	44.0%	39.1%
年金加入		67.5%	69.1%	71.8%	92.0%
雇用保険の加入		55.4%	27.8%	57.1%	65.0%
労災保険の加入		38.8%	45.3%	43.1%	-
健康保険の加入（本人）		64.5%	64.3%	68.1%	69.3%
自賠責保険の加入		-	14.3%	23.4%	27.2%
定期健康診断制度の有無（有）		41.6%	-	50.7%	82.1%
胸部レントゲン健診		-	-	-	80.3%
抗体値検査					B型肝炎 52.9% C型肝炎 27.6% H I V 10.5% 新型コロナ 9.0%
B型肝炎ウイルス検査		38.3%	-	-	（再掲）52.9%
子宮がん検診		40.7%	-	-	-
乳がん検診		29.8%	-	-	-
院内マニュアルの活用・理解		-	-	51.2%	63.5%
使用後の注射針の処理（リキャップ）		-	-	40.9%	31.6%
学会・研修会の参加の有無（有）		-	80.3%	71.8% （4.1回）	61.3% （5回未満）
認定資格等の取得		ヘルパー2級 64人 ケアマネジャー 59人 ヘルパー1級 3人 歯科技工士 3人	-	-	在宅療養・口腔機能管理 36.9% 口腔健康管理地域支援リーダー 21.0% 摂食嚥下リハビリテーション 10.3%
未就業者 就業していない理由		-	育児 33.3% 家庭の事情 13.3%	育児 27.1% 家庭の事情 11.4%	家庭の事情 17.9% 出産・育児 15.4%
未就業者 就業希望		-	条件が合えば 46.7% すぐにでも 10.7%	条件が合えば 45.7% すぐにでも 5.7%	条件が合えば 27.6% すぐにでも 5.2%
地域活動および支部活動		-	-	-	イベントに参加 24.8% 行政からの依頼 17.9% 支部受託事業 7.6%
兵庫県歯科衛生士センターの認知・登録		-	-	-	知っている 52.0% 登録している 30.3%
意識調査 （好きですか、向いているか、私生活と仕事のバランス）		-	-	-	仕事が好き 81.5% 向いている 66.5% 私生活と仕事のバランス 69.1%

兵庫県歯科衛生士勤務等実態調査 詳細結果

—目次—

I. 回答者の属性

1. 就業状況と男女比	3
2. 所属支部	3
3. 年齢	4
4. 最終学歴	4
5. 歯科衛生士として働いた延べ年数	5
6. 主な就業先	5
7. 地域活動および支部活動	6

II 訪問歯科診療

1. 訪問診療への従事	7
-------------	---

III 就業状況

1. 就業規則	9
2. 年収	10
3. 時間外労働	11
4. 有給休暇	12
5. 特別休暇	13
6. 諸手当	14
7. 定年制	15

8.	退職金	16
9.	健康保険	17
10.	年金	19
11.	雇用保険	20
12.	定期健康診断	21
13.	ワクチン接種	22
14.	抗体値検査	23
15.	自賠責保険（歯科衛生士賠償責任保険）	24
IV	医療安全・感染予防	
1.	医療安全	26
2.	感染予防	29
3.	新型コロナウイルス感染症	33
V	研究活動	
1.	学会・研修会	34
2.	認定資格	36
VI	兵庫県歯科衛生士センター	37
VII	意識調査	38

【留意点】

今回実施した「歯科衛生士勤務等実態調査」は、回答者の就業状況によって全員が回答する質問と就業先別に回答する質問とに分かれています。質問項目において、選択肢が「補助質問へ進む」場合は、該当者のみの回答になるため、母数が異なることに留意してください。

また、非常勤の就業先が複数であるため、就業先別の比較は常勤のみの結果になっています。なお、複数回答については、総回答数に占める割合を示します。

I. 回答者の属性

本項目は、回答者の就業形態別に結果を示す。

1. 就業状況と男女比

回答者数は、全体 723 人であった。そのうち、常勤 351 人、非常勤 314 人、未就業 58 人であった（図 1-1）。

性別	常勤		非常勤		未就業		全体	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
男	0	0.0	1	0.3	0	0.0	1	0.1
女	350	99.7	312	99.4	57	98.3	719	99.4
無回答	1	0.3	1	0.3	1	1.7	3	0.4
合計	351	100	314	100	58	100	723	100

図 1-1 回答者の就業状況と男女比

2. 所属支部

支部別では、神戸支部が最も多く、次いで阪神南支部、東播磨支部と続いている。

支部名	常勤		非常勤		未就業		全体	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
神戸支部	111	31.6	68	21.7	15	25.9	194	26.8
阪神南支部	60	17.1	71	22.6	9	15.5	140	19.4
阪神北支部	27	7.7	35	11.1	4	6.9	66	9.1
東播磨支部	56	16.0	45	14.3	11	19.0	112	15.5
北播磨支部	23	6.6	26	8.3	5	8.6	54	7.5
中播磨支部	22	6.3	18	5.7	8	13.8	48	6.6
西播磨支部	17	4.8	18	5.7	1	1.7	36	5.0
但馬支部	12	3.4	21	6.7	3	5.2	36	5.0
丹波支部	15	4.3	9	2.9	1	1.7	25	3.5
淡路支部	7	2.0	3	1.0	1	1.7	11	1.5
無回答	1	0.3	0	0.0	0	0.0	1	0.1
合計	351	100	314	100	58	100	723	100

図 1-2 回答者の所属支部

3. 年齢

回答者の年齢で最も高い数値を示したのは、常勤で20-24歳18.8%、非常勤で50-54歳22.9%、未就業で55-59歳19.0%であった（図1-3）。

年齢	常勤		非常勤		未就業		全体	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
20-24歳	66	18.8	3	1.0	5	8.6	74	10.2
25-29歳	55	15.7	3	1.0	2	3.4	60	8.3
30-34歳	32	9.1	11	3.5	5	8.6	48	6.6
35-39歳	35	10.0	21	6.7	7	12.1	63	8.7
40-44歳	28	8.0	38	12.1	4	6.9	70	9.7
45-49歳	38	10.8	40	12.7	2	3.4	80	11.1
50-54歳	39	11.1	72	22.9	7	12.1	118	16.3
55-59歳	43	12.3	59	18.8	11	19.0	113	15.6
60-64歳	12	3.4	43	13.7	8	13.8	63	8.7
65歳以上	2	0.6	23	7.3	7	12.1	32	4.4
無回答	1	0.3	1	0.3	0	0.0	2	0.3
合計	351	100	314	100	58	100	723	100

図1-3 回答者の年齢

4. 最終学歴

回答者の最終学歴は、歯科衛生士専門学校が最も多く、次いで短期大学であった（図1-4）。

学種	常勤		非常勤		未就業		全体	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
歯科衛生士専門学校	254	72.4	261	83.1	48	82.8	563	77.9
短期大学	40	11.4	22	7.0	7	12.1	69	9.5
短期大学（専攻科）	18	5.1	15	4.8	0	0.0	33	4.6
大学	24	6.8	10	3.2	2	3.4	36	5.0
歯科衛生士専門学校 以外の専門学校	0	0.0	2	0.6	1	1.7	3	0.4
大学院修士課程修了	12	3.4	1	0.3	0	0.0	13	1.8
大学院博士課程修了	0	0.0	2	0.6	0	0.0	2	0.3
その他	2	0.6	0	0.0	0	0.0	2	0.3
未記入	1	0.3	1	0.3	0	0.0	2	0.3
合計	351	100	314	100	58	100	723	100.0

図1-4 回答者の最終学歴

5. 歯科衛生士として働いた延べ年数

常勤では、5年未満が最も多く30.2%であった。非常勤は25年以上30年未満が最も多く17.8%であった（図1-5）。

年数	常勤		非常勤		未就業		全体	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
0-4年	106	30.2	9	2.9	13	22.4	128	17.7
5-9年	47	13.4	12	3.8	10	17.2	69	9.5
10-14年	35	10.0	36	11.5	8	13.8	79	10.9
15-19年	36	10.3	47	15.0	8	13.8	91	12.6
20-24年	40	11.4	52	16.6	5	8.6	97	13.4
25-29年	32	9.1	56	17.8	2	3.4	90	12.4
30-34年	24	6.8	49	15.6	6	10.3	79	10.9
35-39年	25	7.1	24	7.6	1	1.7	50	6.9
40-44年	3	0.9	21	6.7	2	3.4	26	3.6
45年以上	1	0.3	6	1.9	2	3.4	9	1.2
無回答	2	0.6	2	0.6	1	1.7	5	0.7
合計	351	100	314	100	58	100	723	100

図1-5 回答者の勤続年数

6. 主な就業先

常勤、非常勤ともに診療所が最も多く、それぞれ58.7%と44.6%であった。常勤では、診療所に次いで病院・大学病院が18.2%であった。非常勤は、診療所に次いで行政が19.9%であり、歯科衛生士会からの出務は10.9%であった（図1-6-1,1-6-2）。

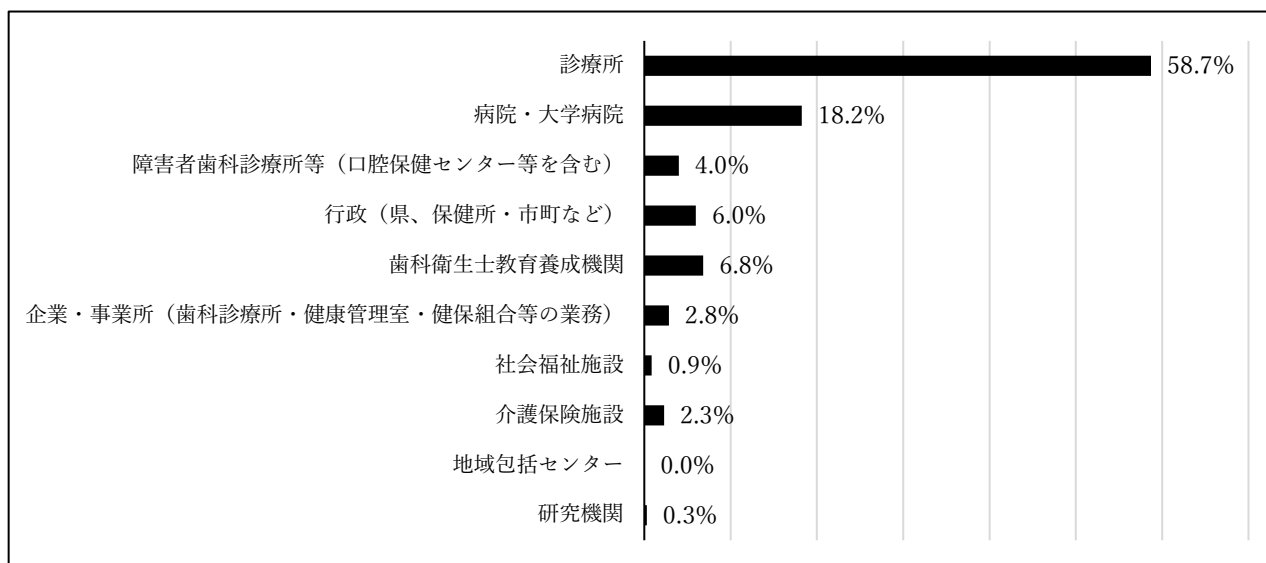


図1-6-1 現在の勤務先（常勤）

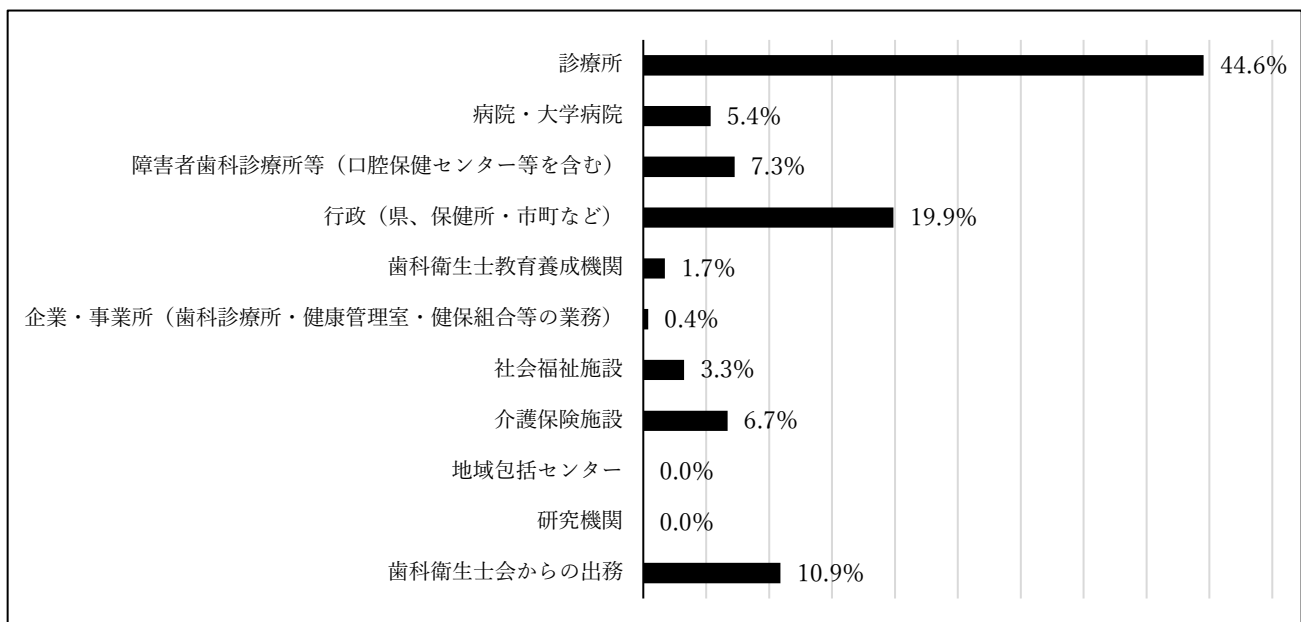


図 1-6-2 現在の就業先（非常勤）

7. 地域活動および支部活動

常勤および未就業では、60%以上が参加していなかった。非常勤は、歯科衛生士会・歯科医師会・行政主催のイベントや、行政からの依頼事業に参加している者が26.5%であった（図 1-7）。

内容	常勤		非常勤		未就業		全体	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
イベントに参加 （歯科衛生士会、歯科医師会、行政主催）	90	23.3	149	27.6	6	9.7	245	24.8
事業所健診 （歯科衛生士会からの依頼）	17	4.4	43	8.0	2	3.2	62	6.3
本会受託事業への出務 （障害者施設、高齢者施設など）	8	2.1	37	6.9	1	1.6	46	4.7
支部受託事業 （保育所、幼稚園、小学校など）	11	2.8	62	11.5	2	3.2	75	7.6
行政（県・市町）からの依頼事業 （乳幼児健康診査、介護予防事業 訪問指導事業など）	28	7.3	143	26.5	6	9.7	177	17.9
その他	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
参加していない	232	60.1	105	19.5	45	72.6	382	38.7
合計	386	100	539	100	62	100	987	100

図 1-7 地域活動および支部活動（複数回答）

II 訪問歯科診療

1. 訪問診療への従事

訪問診療は、常勤と比較すると非常勤の方が従事している割合が20.3%高かった。また、常勤で訪問診療に従事しているものの勤務先は診療所が最も多く36.9%であった（図2-1-1, 2-1-2）。

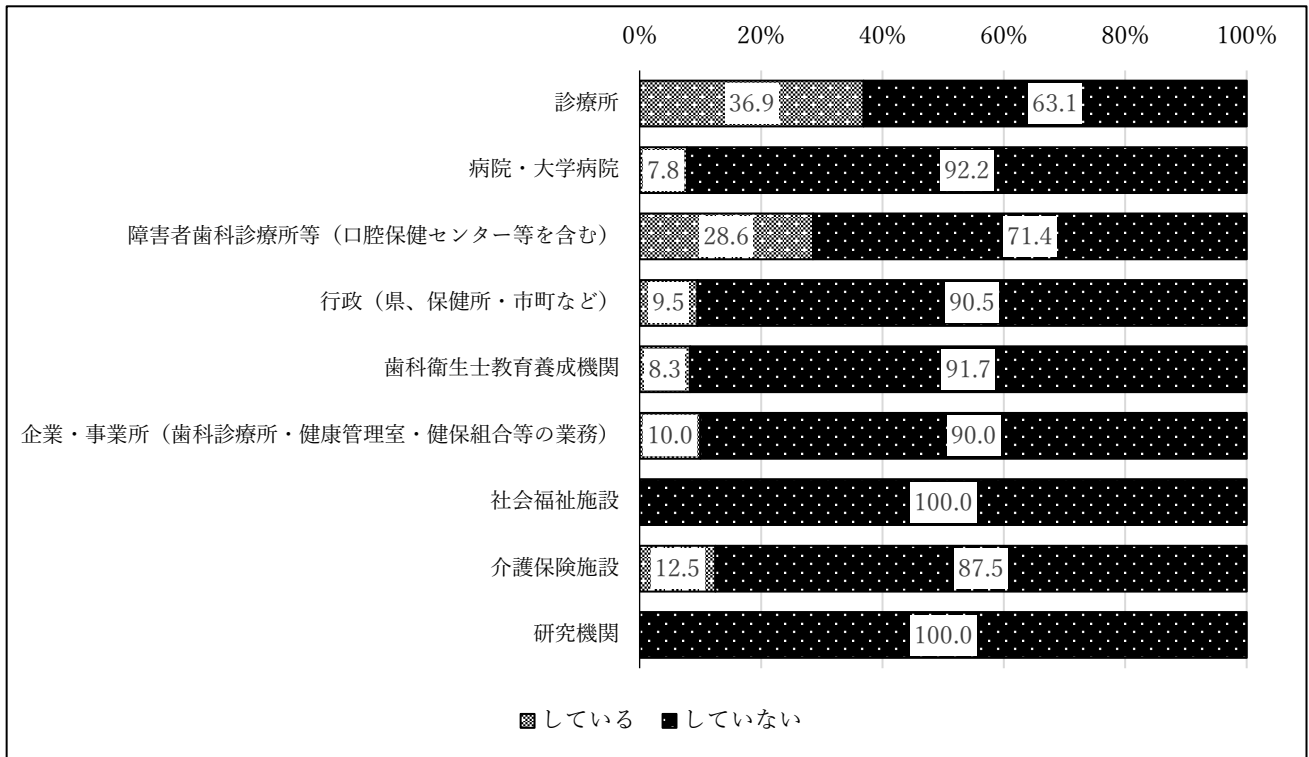
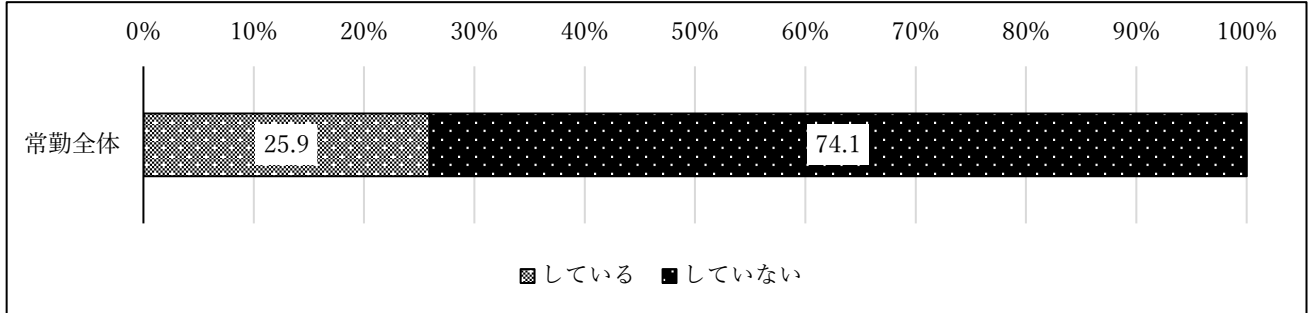


図 2-1-1 訪問歯科診療に従事していますか（常勤）

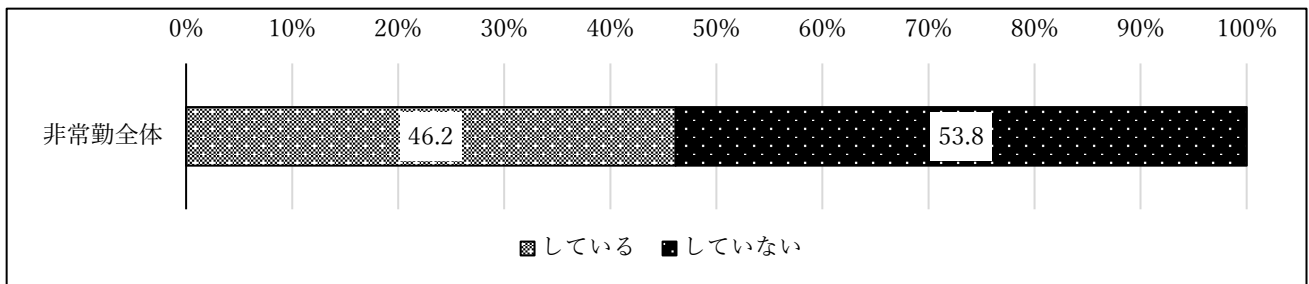


図 2-1-2 訪問歯科診療に従事していますか（非常勤）

2. 訪問診療の業務内容

訪問診療の業務内容は、常勤・非常勤ともに口腔衛生管理が最も多く、摂食嚥下機能訓練が最も低かった（図 2-2）。

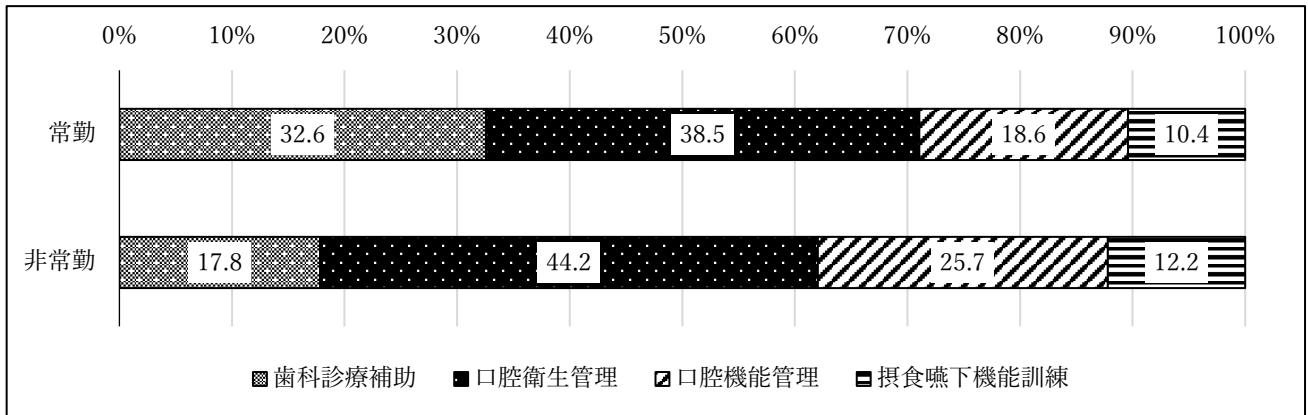


図 2-2 訪問歯科診療はどのような業務内容ですか（複数回答）

3. 訪問診療の訪問先

訪問先について、常勤は、居宅 41.3%であったが、非常勤は、入所型の高齢者施設が最も多く 48.8%であった（図 2-3）。

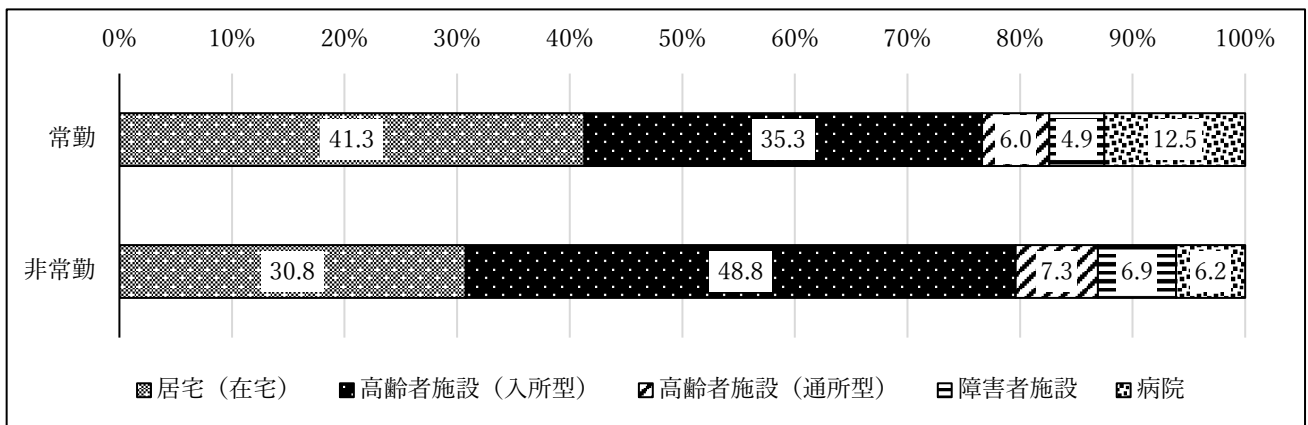


図 2-3 訪問歯科診療の訪問先はどこですか（複数回答）

Ⅲ 就業状況

1. 就業規則

就業規定は、常勤 68.9%が確認しており、非常勤 48.7%と半数に満たなかった。また、常勤を就業別にみた場合、すべての就業先の50%以上が確認していた（図 3-1-1、3-1-2）。

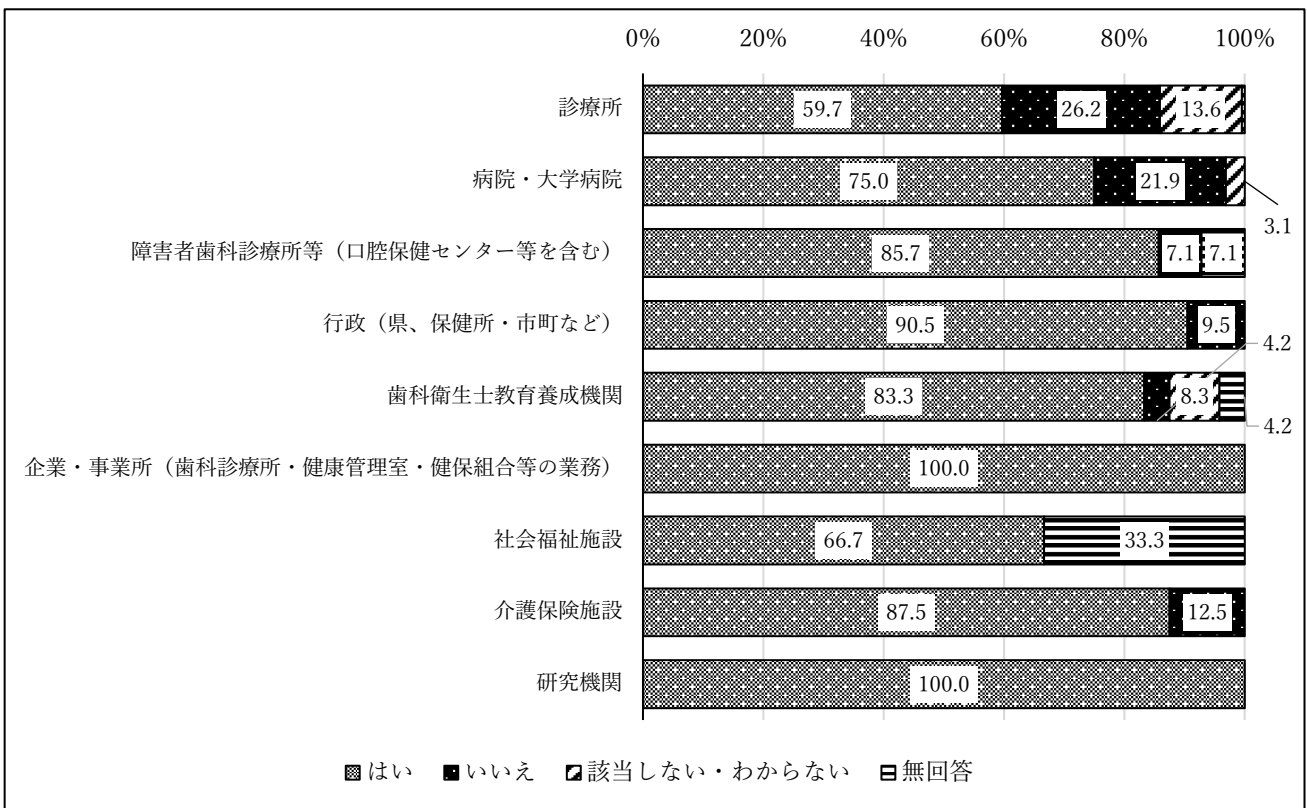
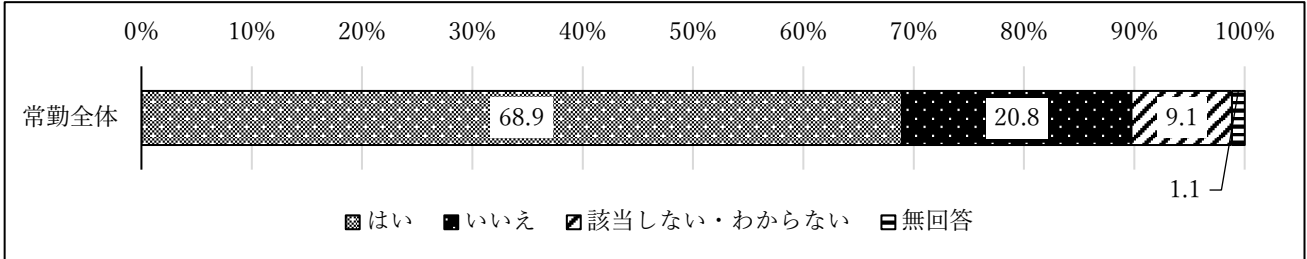


図 3-1-1 就業先の就業規定の内容を確認したことがありますか（常勤）

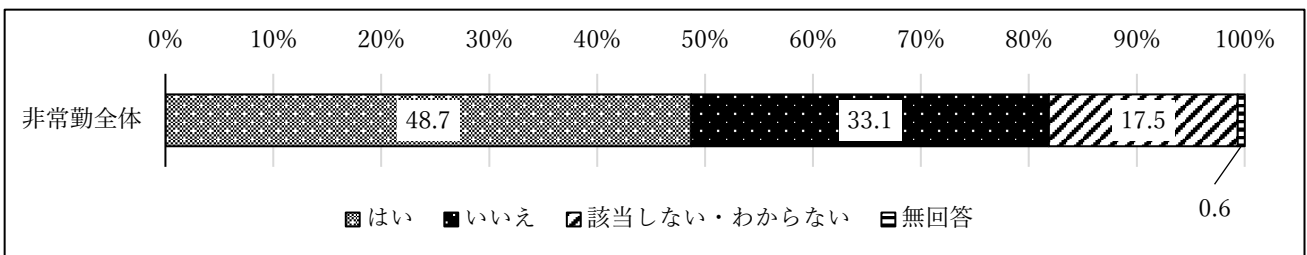


図 3-1-2 就業先の就業規定の内容を確認したことがありますか（非常勤）

2. 年収

常勤と非常勤では、選択肢が異なるため比較はできないが、常勤は、300万円以上400万円未満38.7%と最も多かった。就業別では、歯科衛生士養成機関の平均年収が高い(図3-2-1)。非常勤は、130万円未満60.2%を占めた(図3-2-2)。

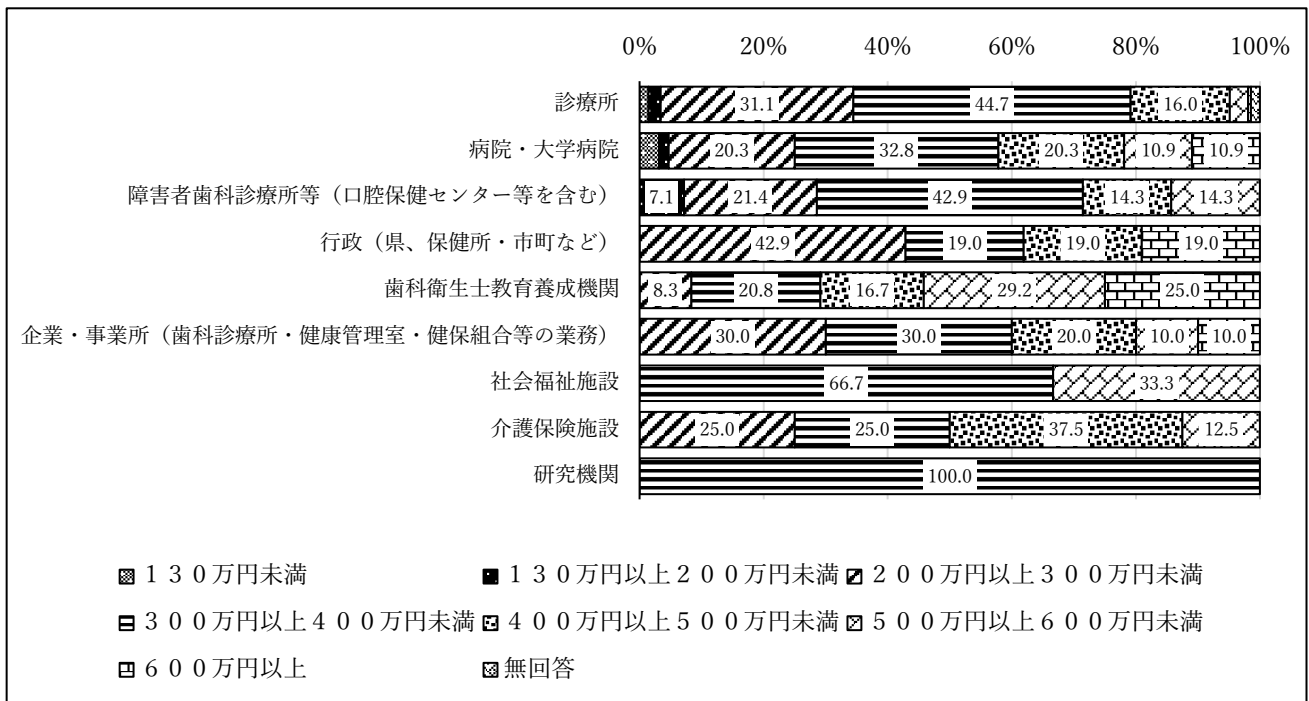
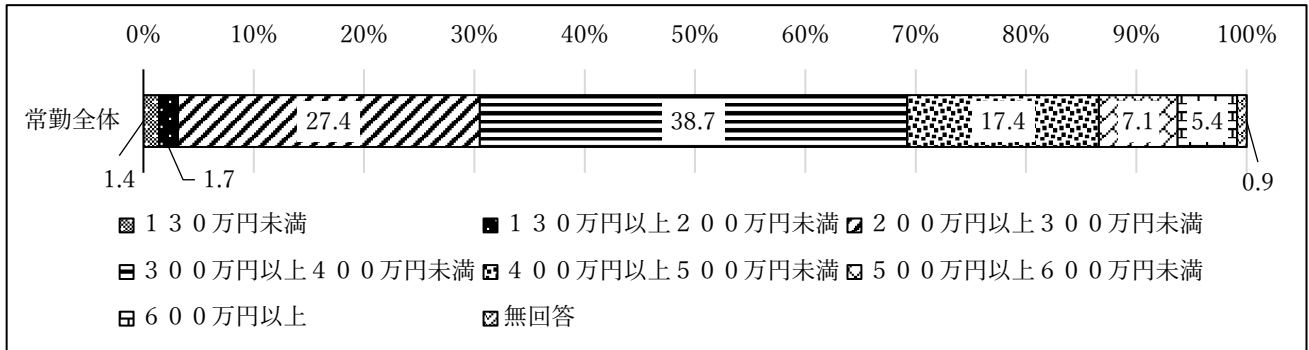


図3-2-1 就業先の年収はいくらですか (常勤)

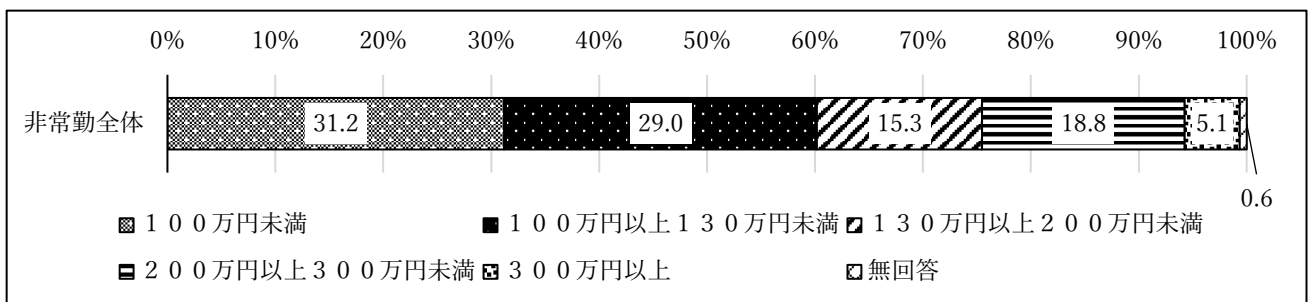


図3-2-2 主な就業先の年収はいくらですか (非常勤)

3. 時間外労働

常勤の結果では、歯科衛生士教育養成機関が、1か月の時間外労働が20時間以上50%であった。そのうち、手当が支給されない割合は58.3%であった（図3-3-1, 3-3-2）。

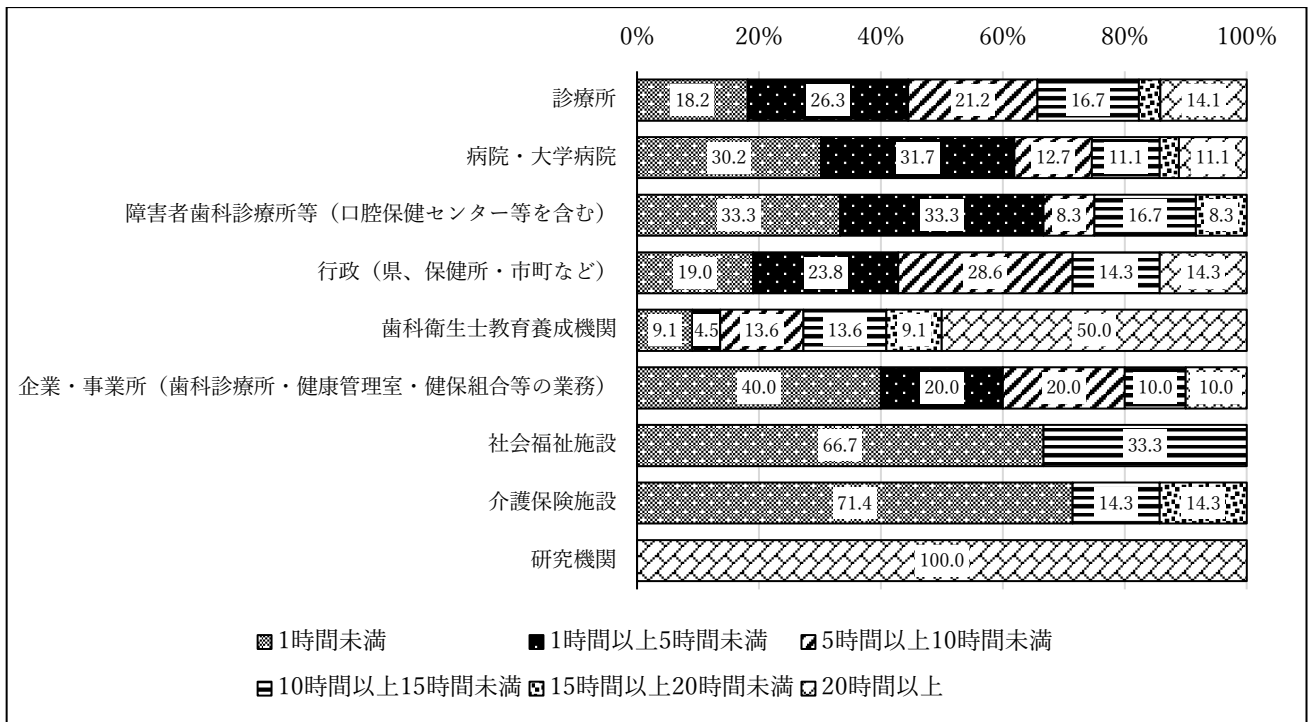


図3-3-1 時間外労働は、1か月何時間程度ですか（常勤）

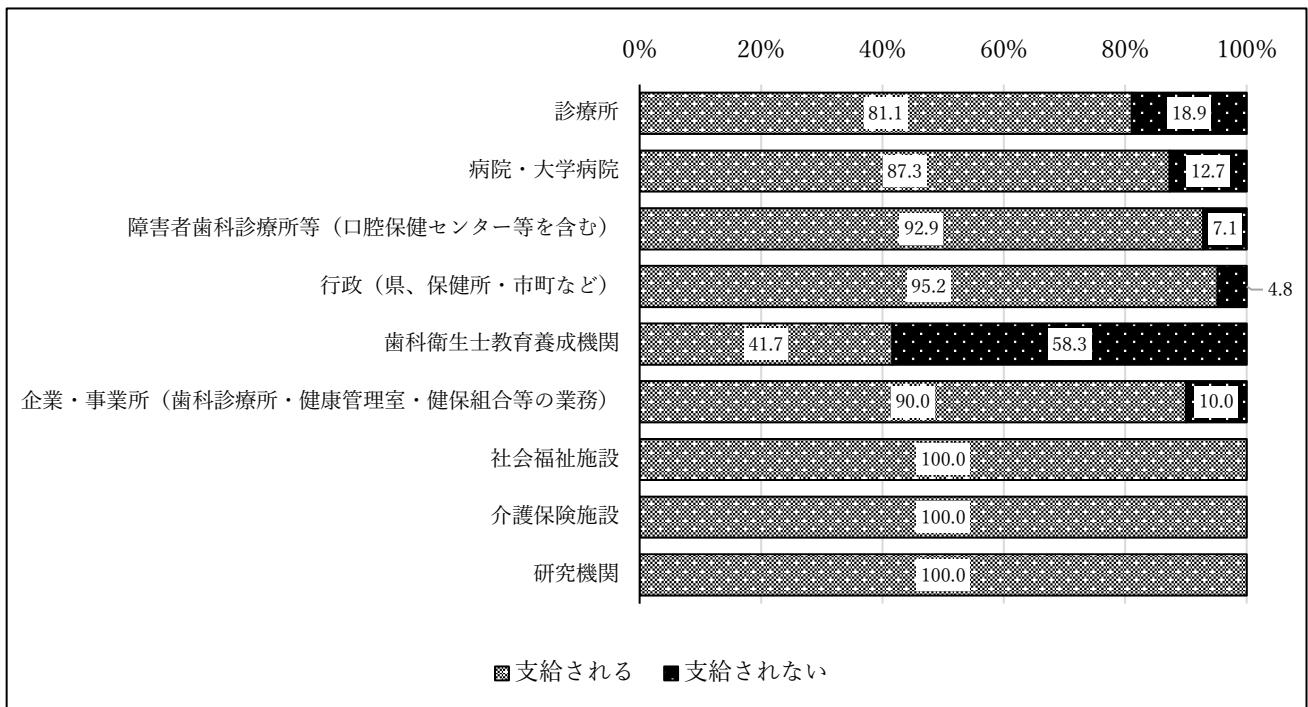


図3-3-2 時間外労働に対し、時間外手当は支給されますか（常勤）

4. 有給休暇

常勤 94.6%が有給休暇ありと回答し、非常勤 42.3%であった（図 3-4-1, 3-4-2）。

また、常勤のうち、企業や事業所勤務の 10%、診療所勤務の 7.8%に有給休暇がないと回答している（図 3-4-1）。

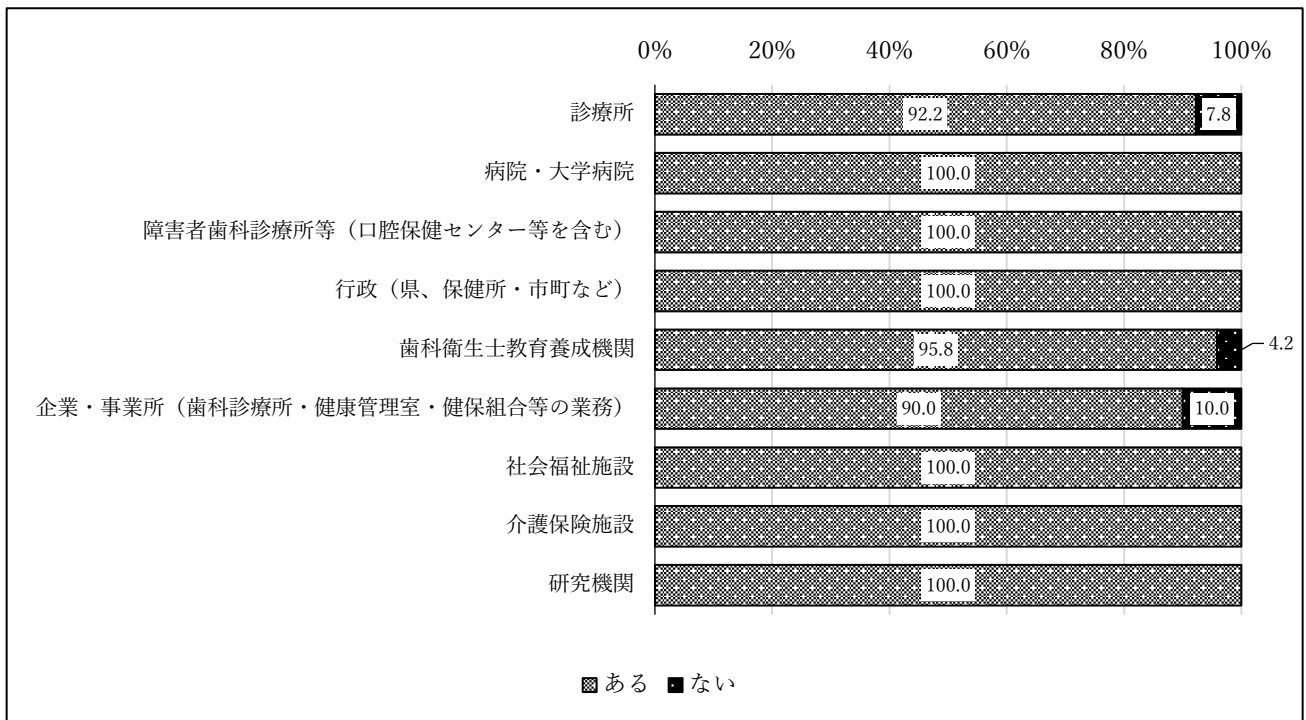
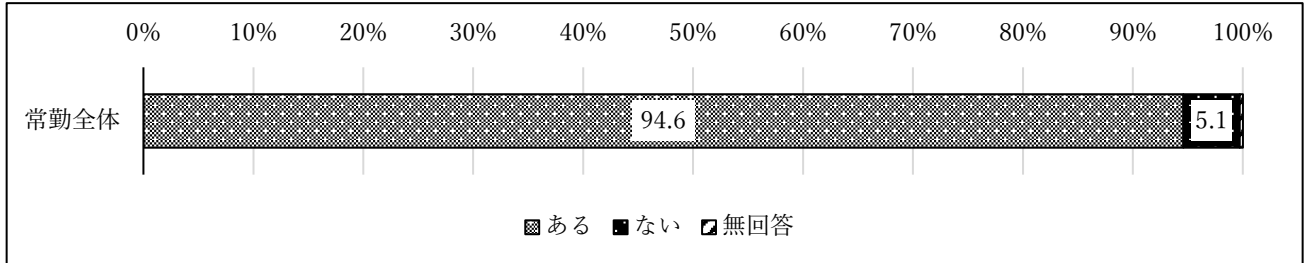


図 3-4-1 有給休暇はありますか（常勤）

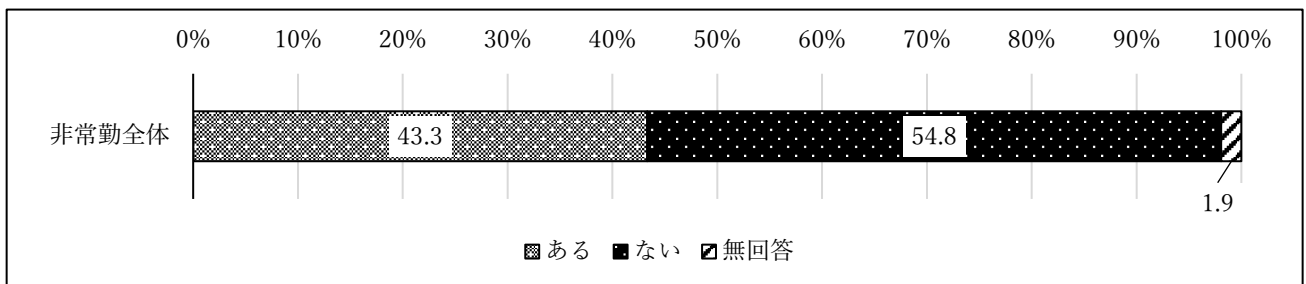


図 3-4-2 有給休暇はありますか（非常勤）

5. 特別休暇

常勤では、就業先別において特別休暇の種類に大きな違いはなかった（図 3-5-1）。非常勤 59.2%に特別休暇はないと回答した（図 3-5-2）。

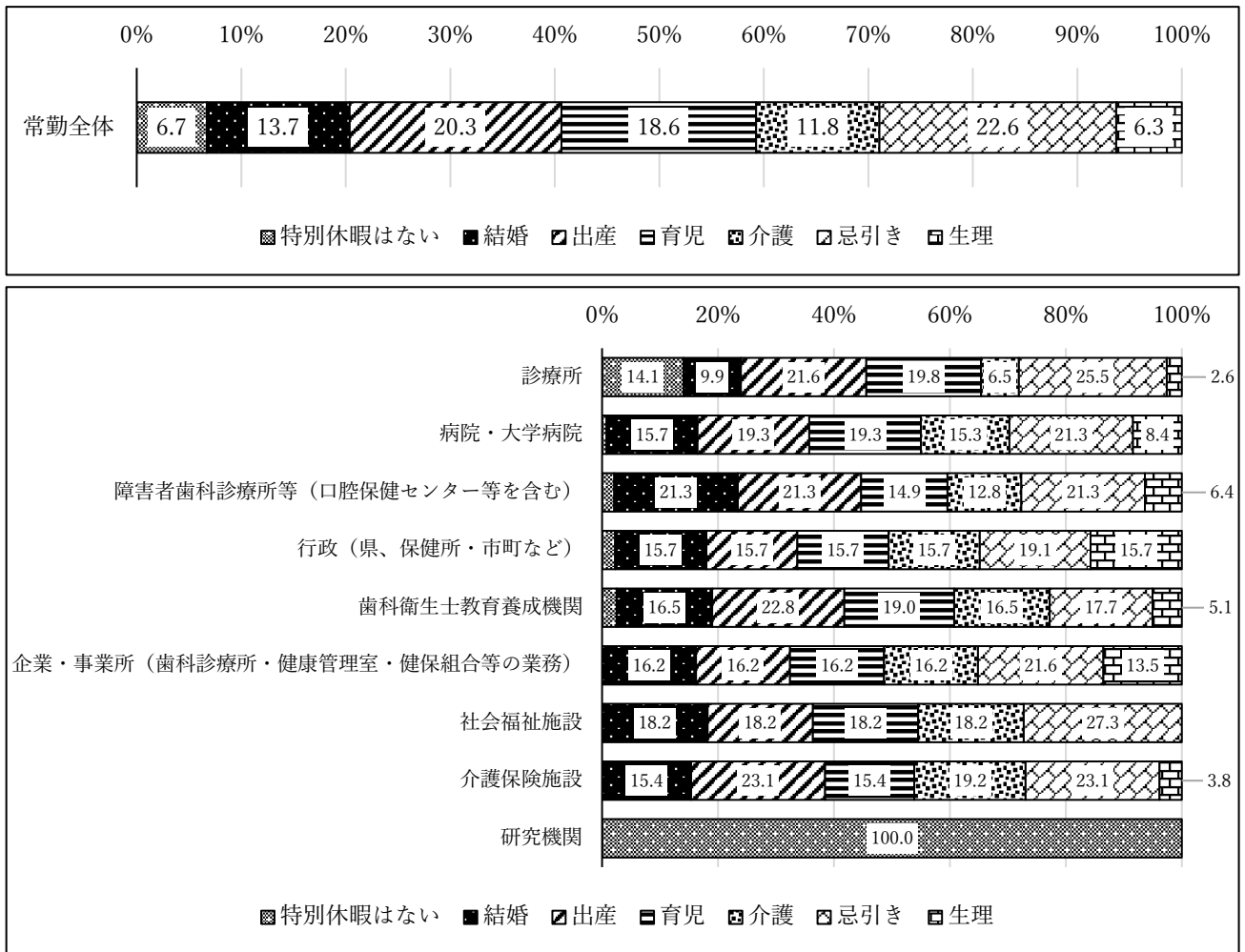


図 3-5-1 特別休暇はどのような休暇がありますか（複数回答；常勤）

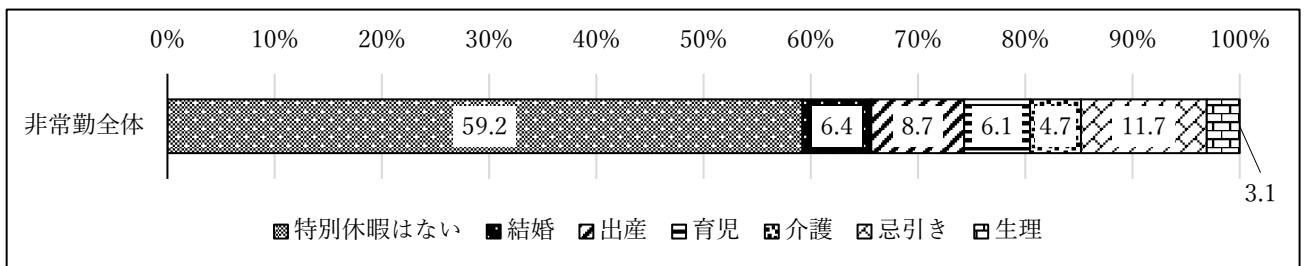


図 3-5-2 特別休暇はどのような休暇がありますか（複数回答；非常勤）

6. 諸手当

常勤 98.4%が通勤、時間外、資格、役職、皆勤などの諸手当があると回答した（図 3-6-1）。非常勤 34.9%が諸手当はないと回答した（図 3-6-2）。

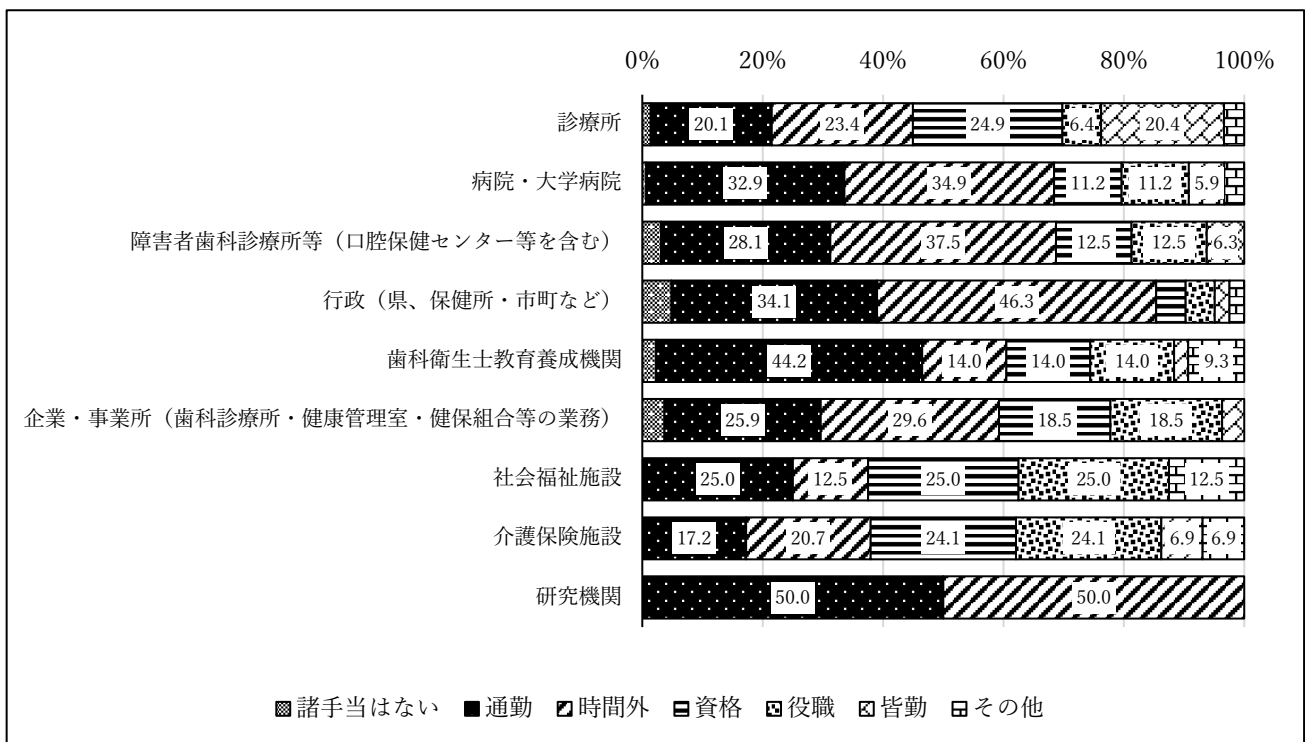
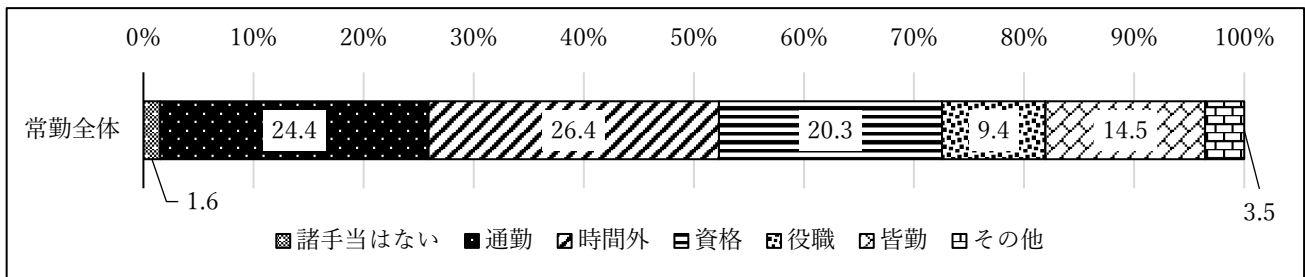


図 3-6-1 諸手当はどのような手当がありますか（複数回答；常勤）

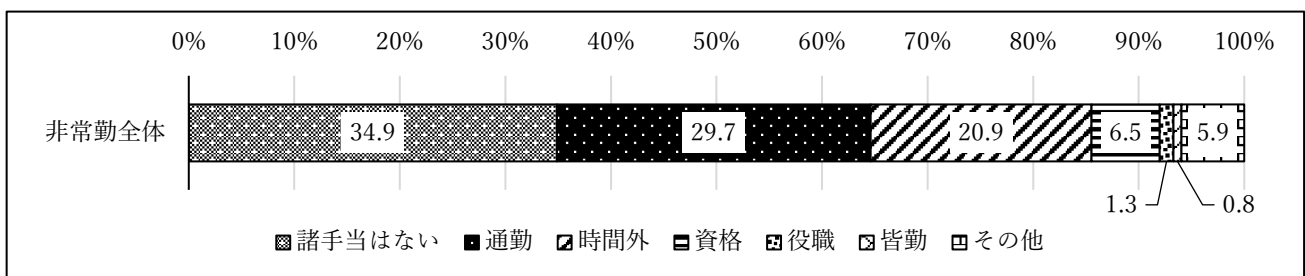


図 3-6-2 諸手当はどのような手当がありますか（複数回答；非常勤）

7. 定年制

常勤 46.2%が定年制ありと回答したのに対して、非常勤 17.5%であった。また、常勤と非常勤ともに、定年制があるかわからないと答えた者も多かった（図 3-7-1, 3-7-2）。定年の年齢に関しては、常勤・非常勤ともに 60 歳が最も多かった（図 3-7-3）。

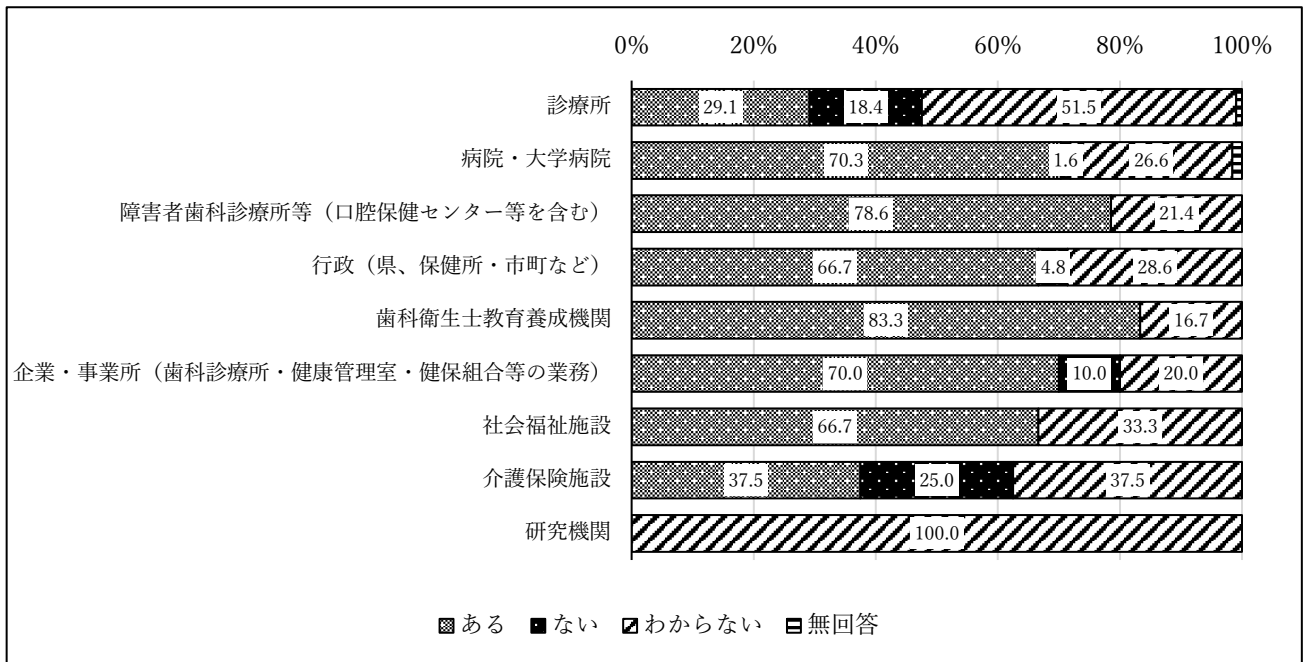
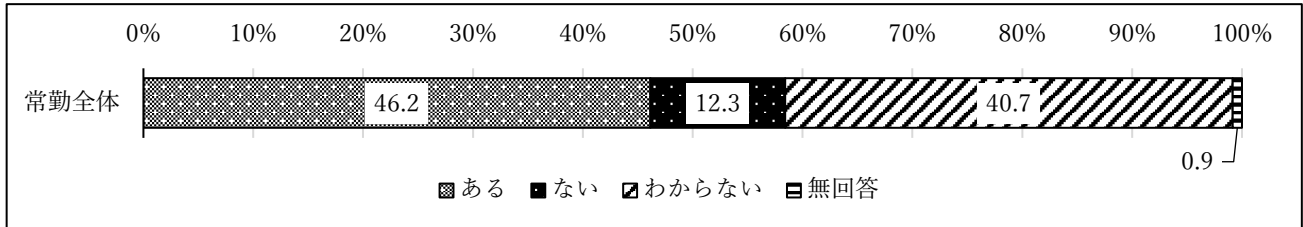


図 3-7-1 定年制はありますか（常勤）

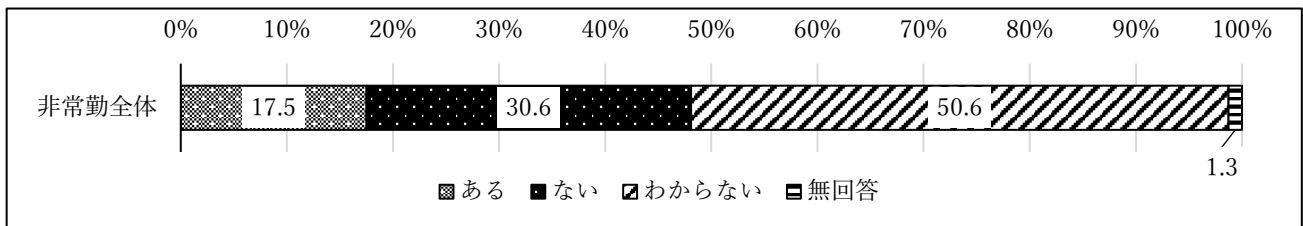


図 3-7-2 定年制はありますか（非常勤）

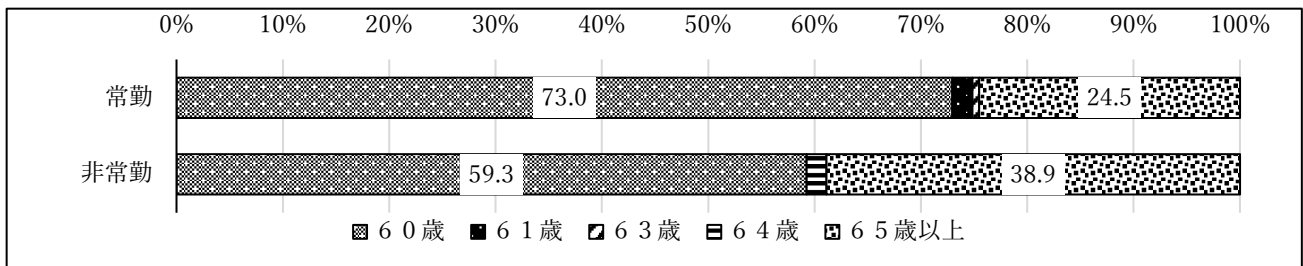


図 3-7-3 定年制がある場合、それは何歳ですか

8. 退職金

常勤 66.4%が退職金ありと回答した。そのうち、介護保険施設や障害者歯科診療所では 90%以上が退職金ありと回答した（図 3-8-1）。非常勤 56.7%が退職金なしと回答した（図 3-8-2）。

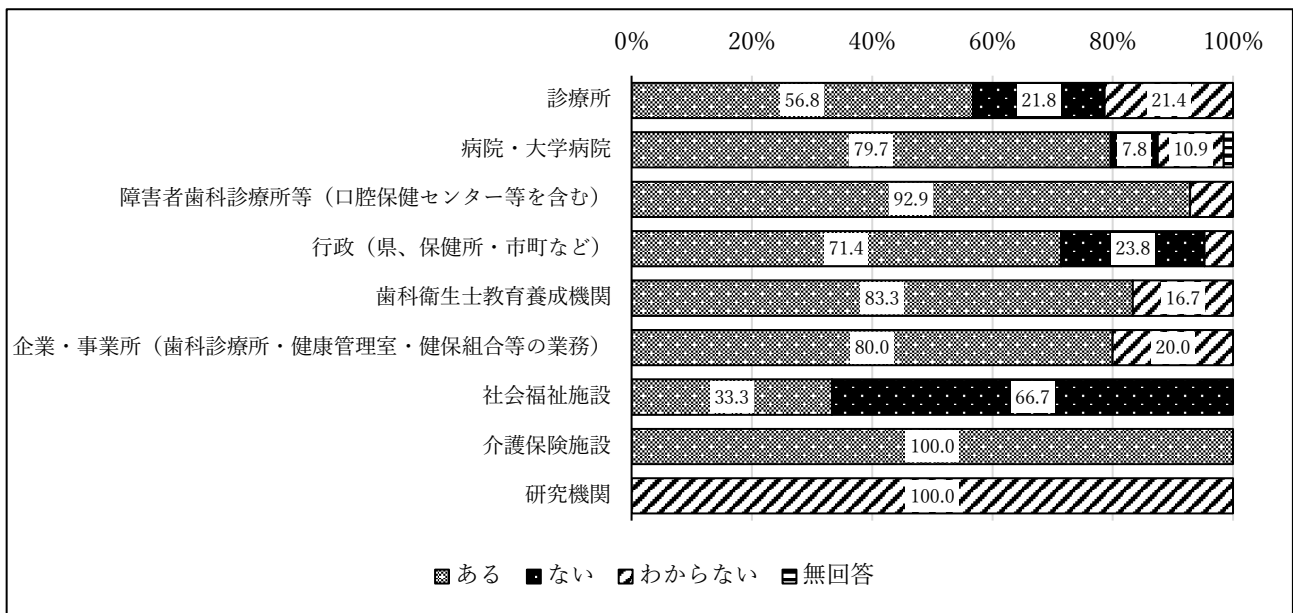
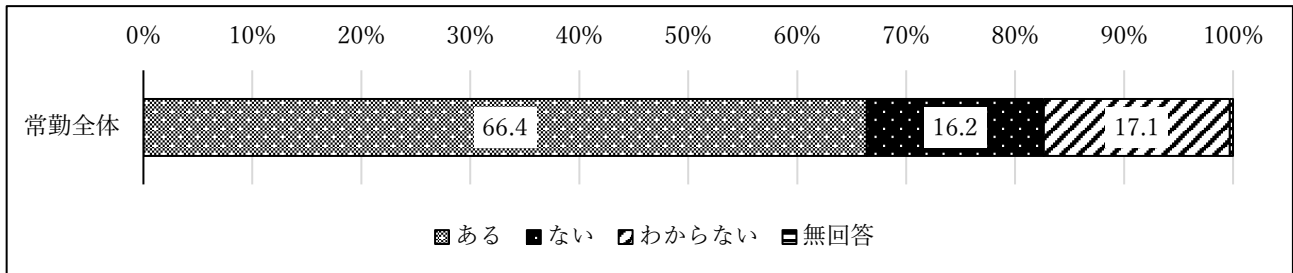


図 3-8-1 退職金制度はありますか（常勤）

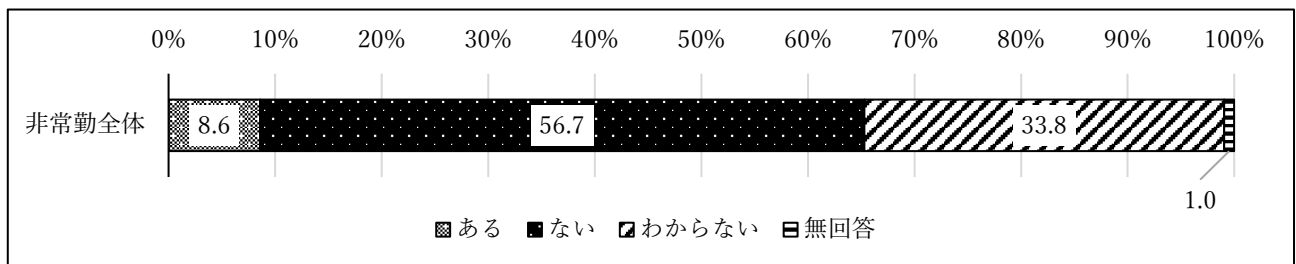


図 3-8-2 退職金制度はありますか（非常勤）

9. 健康保険

常勤 95.7%が被保険者本人として健康保険に加入していた（図 3-9-1）。非常勤は、被保険者の扶養家族である割合が 53.5%と半数を占めた（図 3-9-2）。また、保険の種類は、常勤は、歯科医師国保、非常勤は自己負担の国民健康保険が最も多かった（図 3-9-3）。

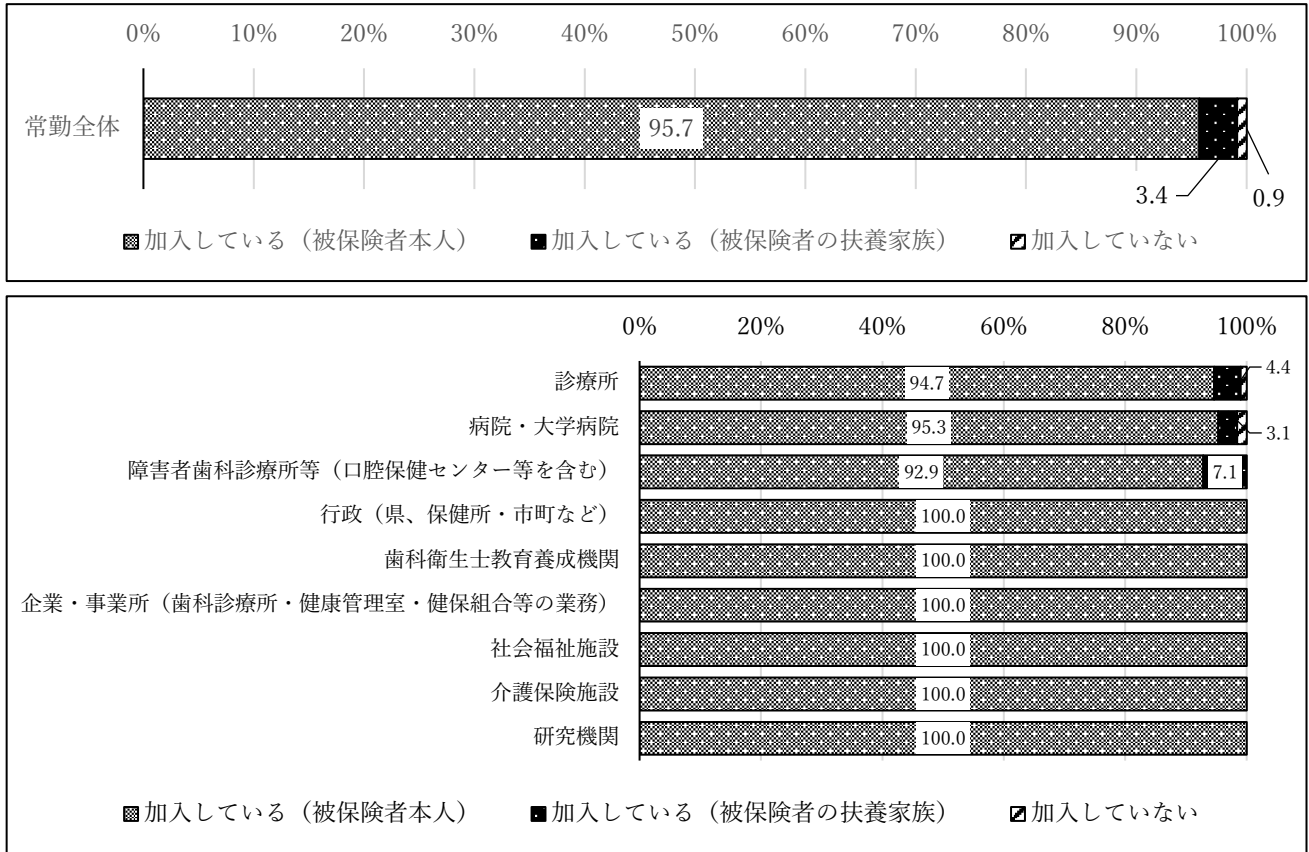


図 3-9-1 公的な健康保険に加入していますか（常勤）

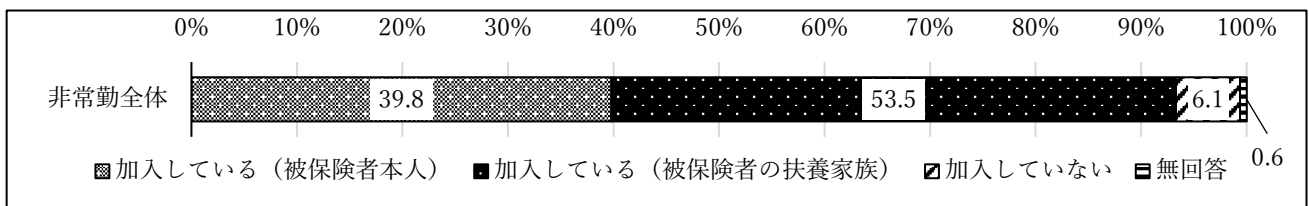


図 3-9-2 公的な健康保険に加入していますか（非常勤）

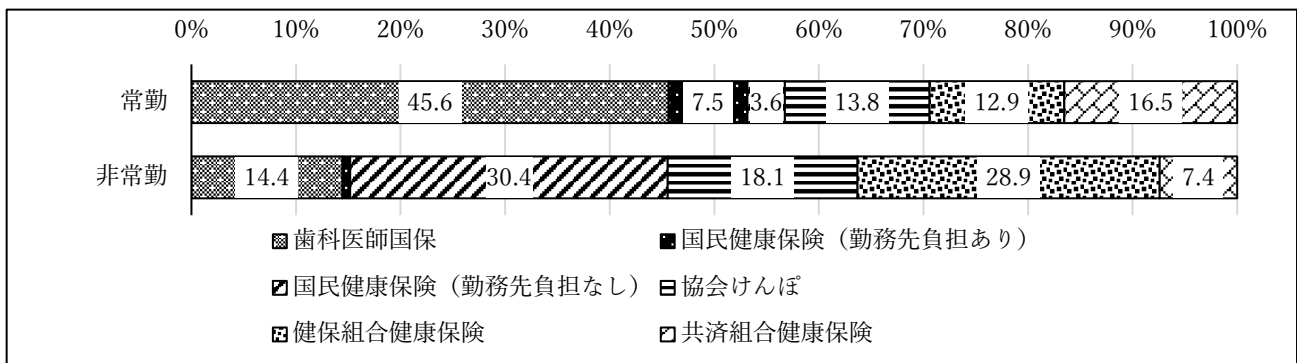


図 3-9-3 加入している場合、それはどの保険ですか（複数回答）

10. 年金

年金は、勤務形態に関わらず90%以上が加入しているか、配偶者の年金に加入していた（図3-10-1、3-10-2）。また、年金の種類は、常勤・非常勤ともに厚生年金が約半数を占めた（図3-10-3）。

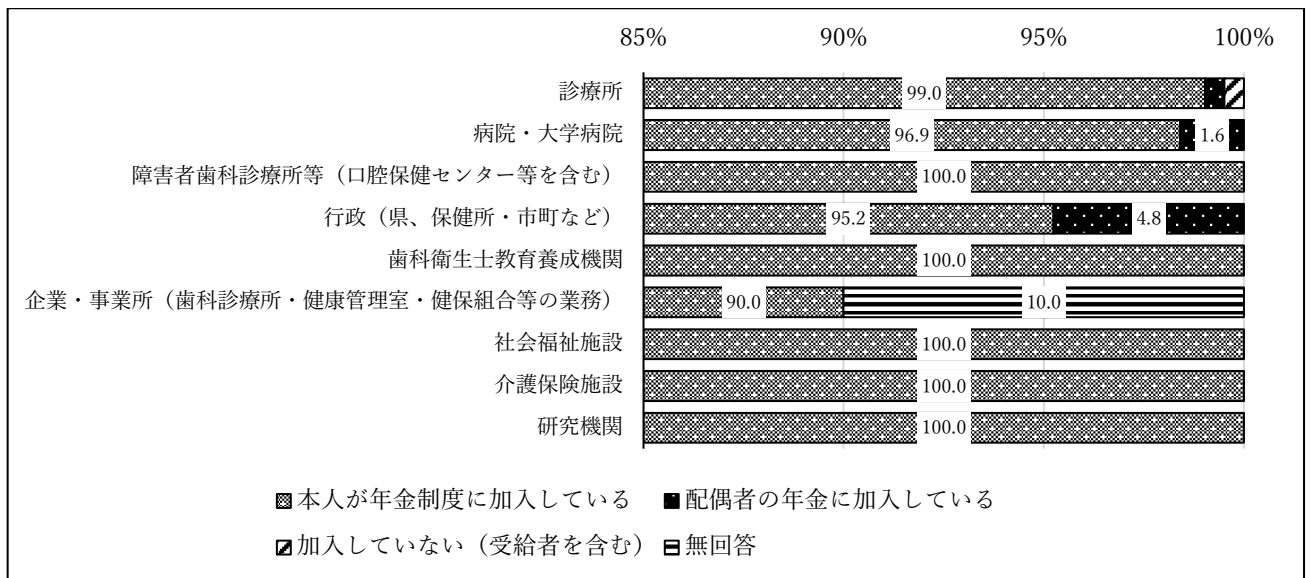
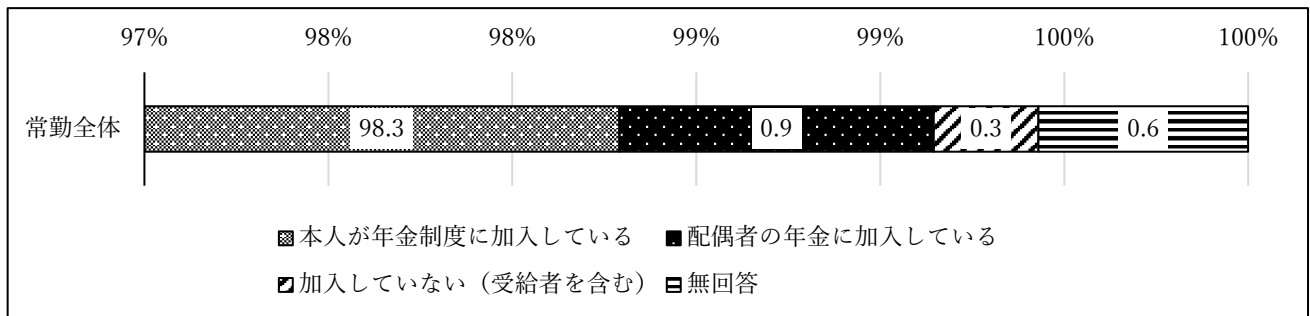


図3-10-1 年金に加入していますか (常勤)

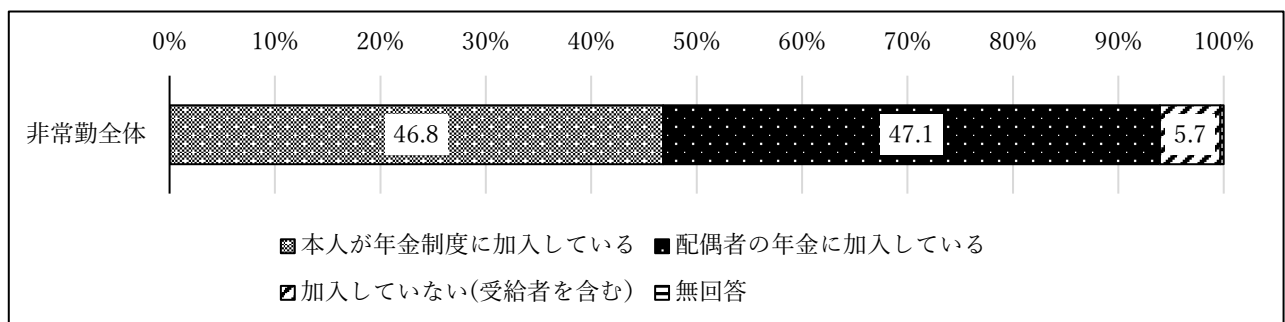


図3-10-2 年金に加入していますか (非常勤)

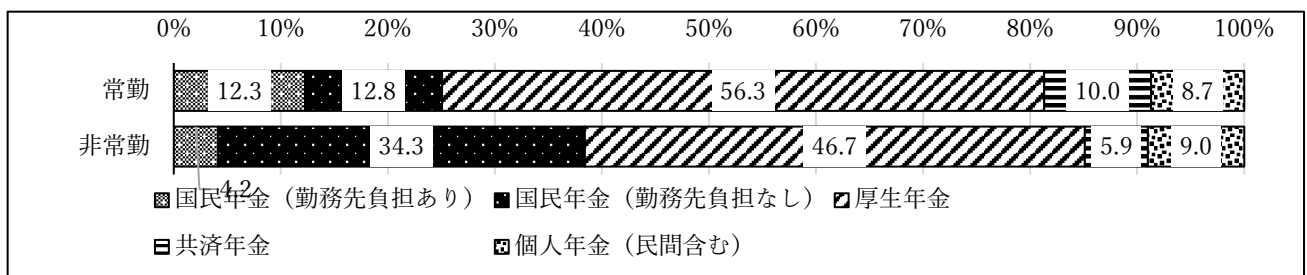


図3-10-3 加入している場合、それはどの年金ですか (複数回答)

1 1. 雇用保険

常勤 91.2%が加入しているのに対して、非常勤 35.7%であった。また、就業別では、行政、病院・大学病院、企業・事業所に加入していない回答があった。(図 3-11-1, 3-11-2)。

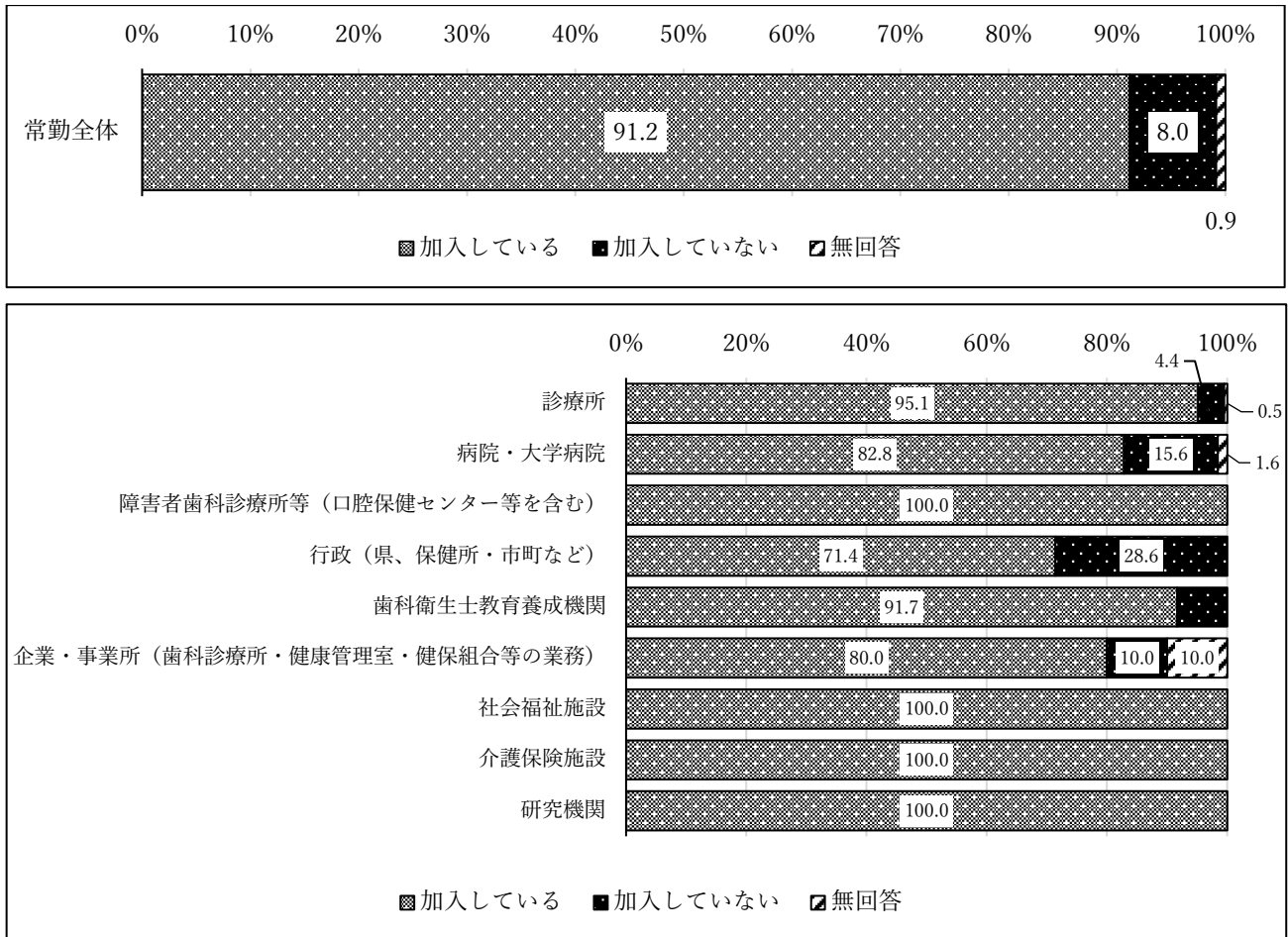


図 3-11-1 雇用保険に加入していますか (常勤)

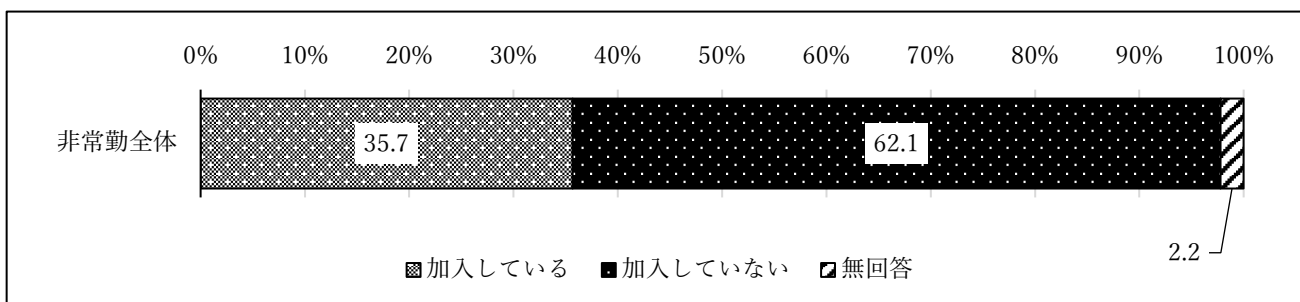


図 3-11-2 雇用保険に加入していますか (非常勤)

1 2. 定期健康診断

常勤 70.7%が定期健診を受けており、そのうち 80.3%は胸部レントゲンも受けていた（図 3-12-1, 3-12-3）。就業別では、病院や大学病院が就業先負担の割合が高かった。非常勤は、全額自己負担で受けているが 38.9%、就業別の（全額・一部）負担が 38.8%であった（図 3-12-2）。

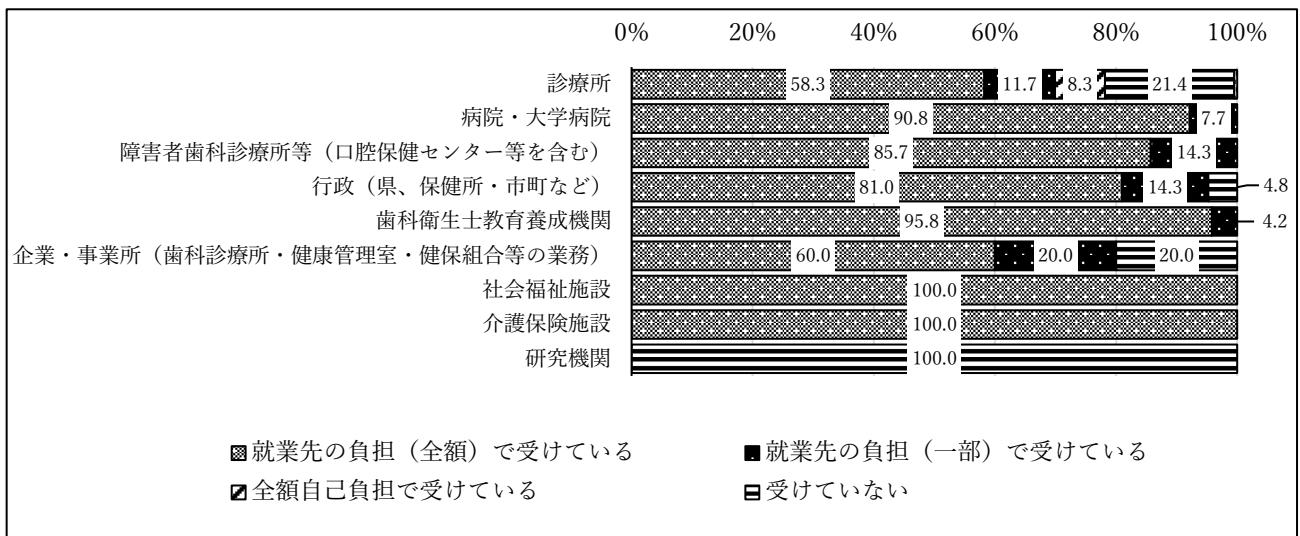
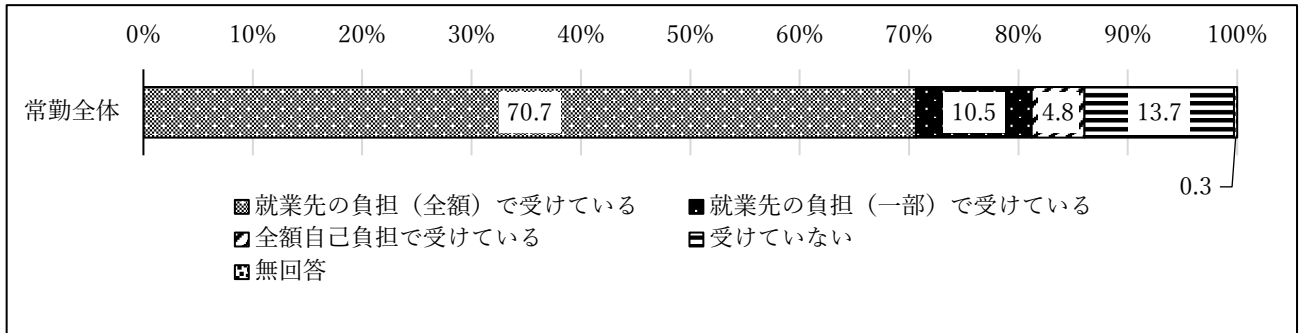


図 3-12-1 定期健康診断を受けていますか（常勤）

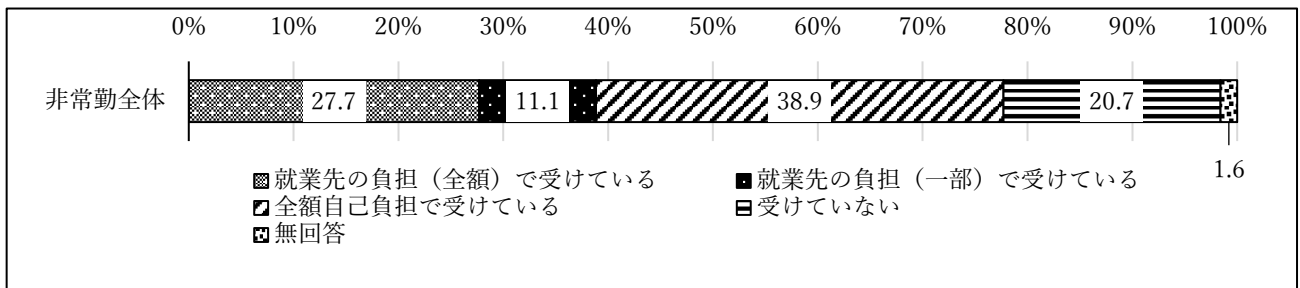


図 3-12-2 定期健康診断を受けていますか（非常勤）

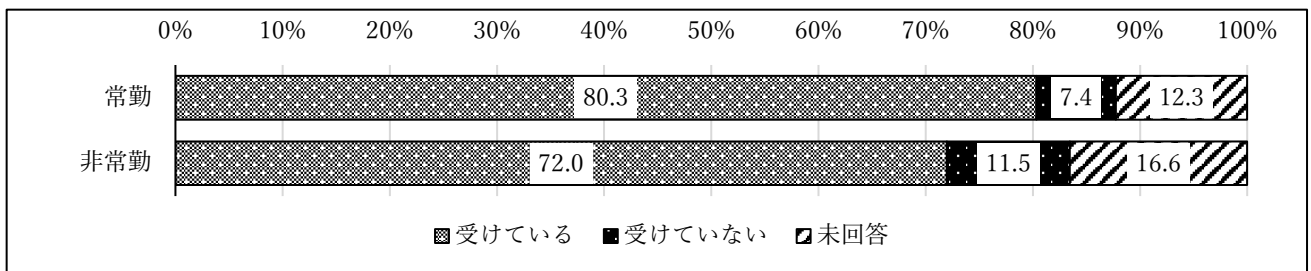


図 3-12-3 定期健診を受けている場合、胸部レントゲンは受けていますか

1 3. ワクチン接種

常勤と非常勤ともに接種率は94.6%と同率であった(図3-13-1, 3-13-2)。また、受けているワクチンの種類は、いずれも新型コロナウイルス感染症、インフルエンザ感染症、B型肝炎とのワクチンを接種していた(図3-13-3)。

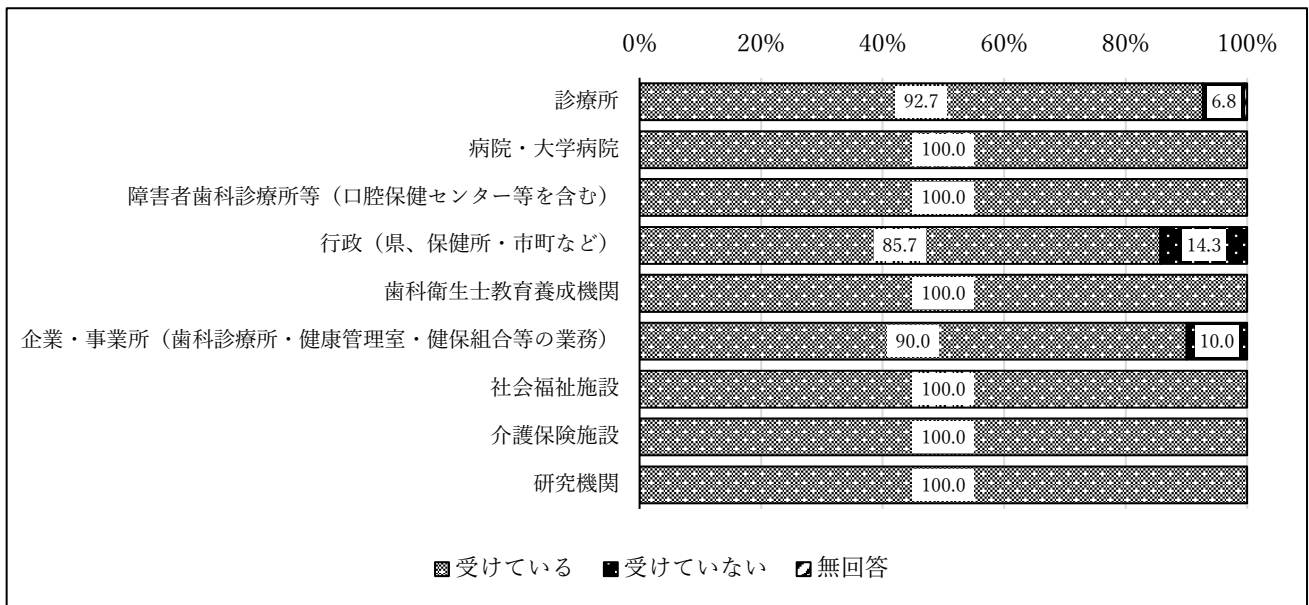
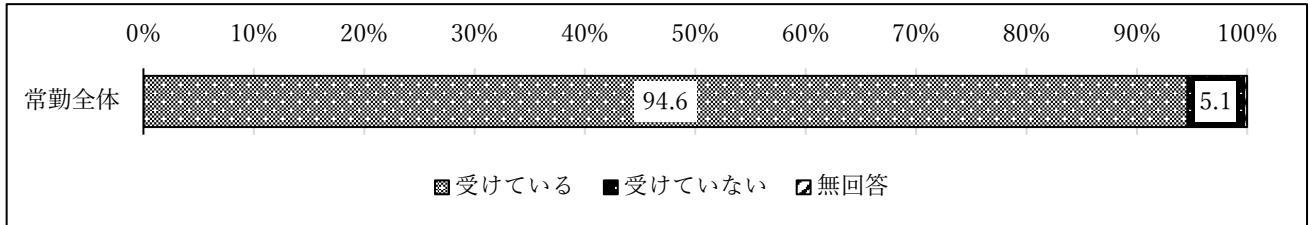


図 3-13-1 ワクチン接種は受けていますか(常勤)

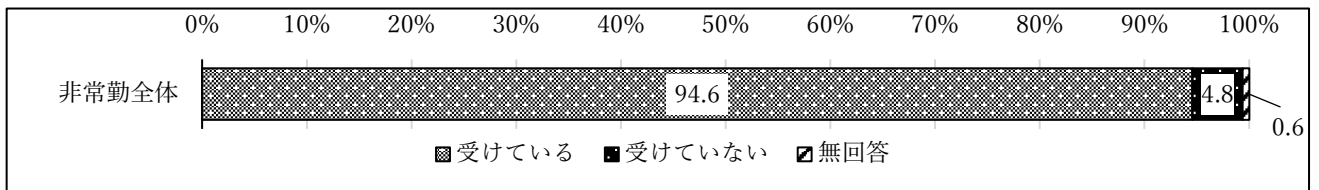


図 3-13-2 ワクチン接種は受けていますか(非常勤)

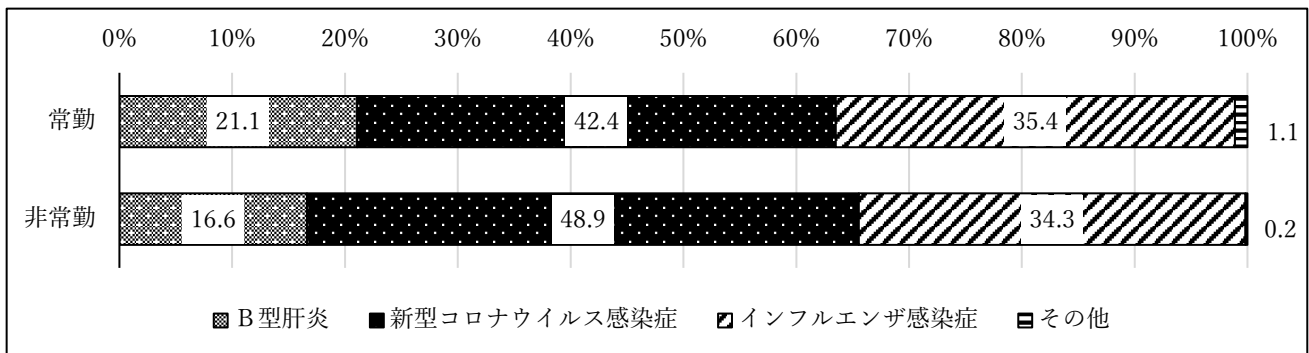


図 3-13-3 受けているワクチンの種類は何ですか(複数回答)

1 4. 抗体値検査

常勤 52.7%が抗体価検査を受けており、その就業先は病院・大学病院が多かった（図 3-14-1）。非常勤 26.1%が受けていた（図 3-14-2）。抗体価の種類としては、B型肝炎が最も多く、C型、コロナウイルス感染症、H I Vの順であった（図 3-14-3）。

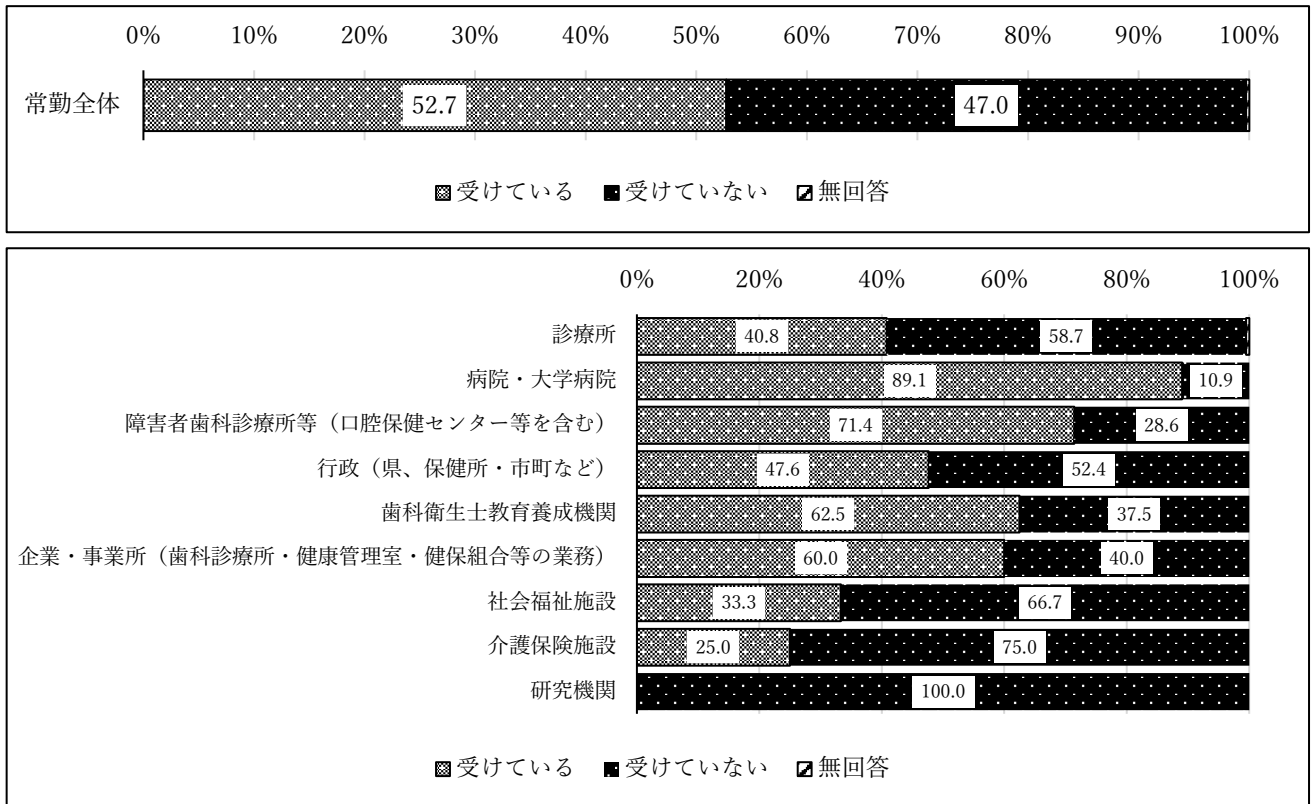


図 3-14-1 抗体価検査は受けていますか（常勤）

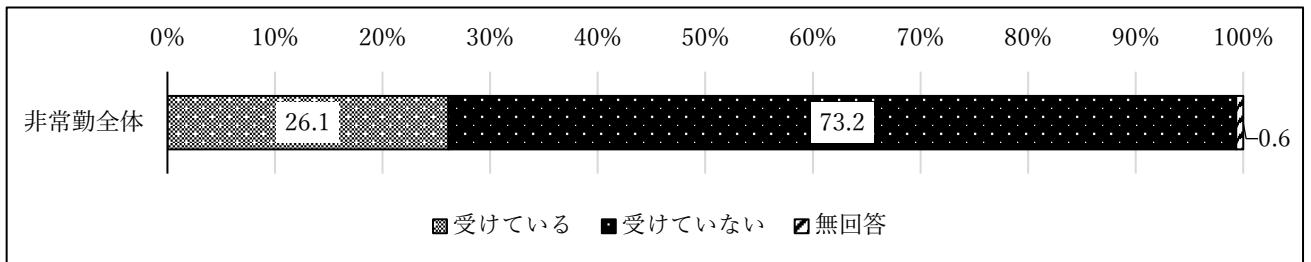


図 3-14-2 抗体価検査は受けていますか（非常勤）

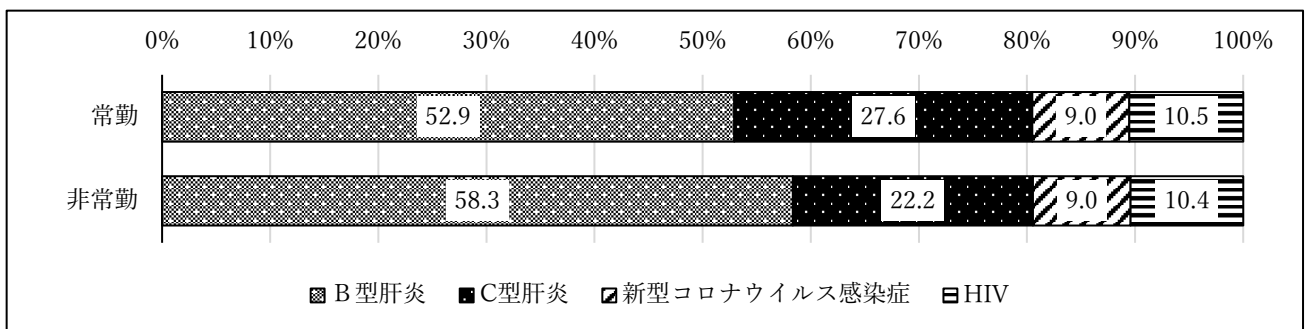


図 3-14-3 受けている抗体価の種類は何ですか（複数回答）

1 5. 自賠償保険（歯科衛生士賠償責任保険）

常勤 20.2%であり、病院・大学病院において割合が高かった（図 3-15-1）。非常勤 35%であった（図 3-15-2）。加入しない理由は、いずれも「入る必要性を感じなかった」と答えた割合が高く、次いで「よくわからなかった」「知らなかった」「他の保険に入っている」であった（図 3-15-3）。

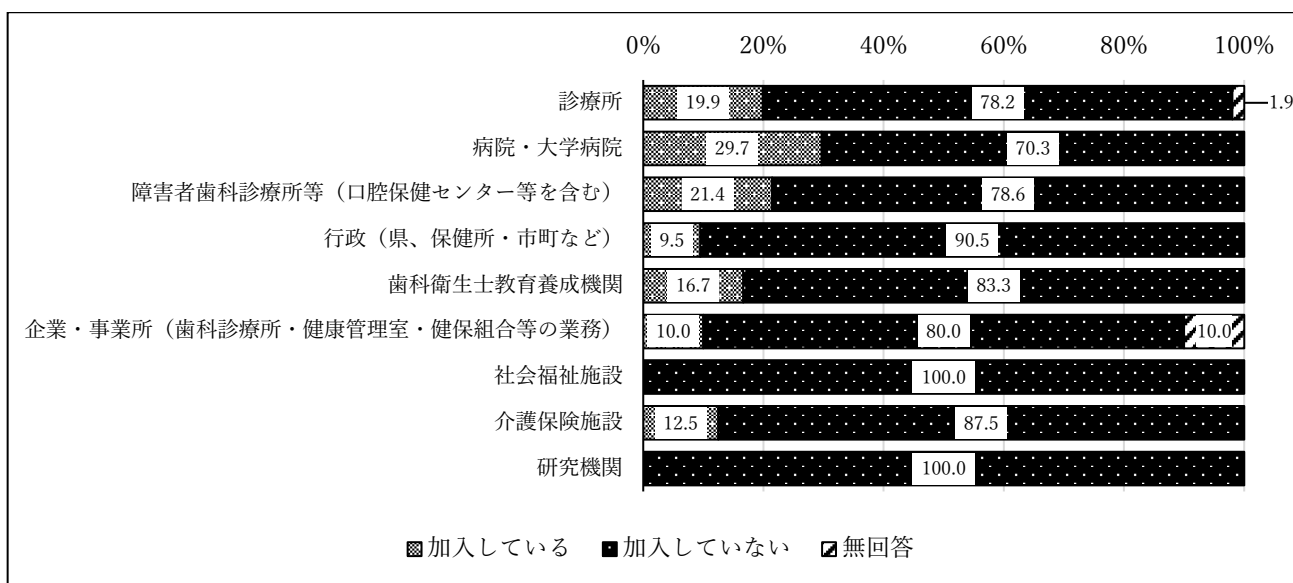
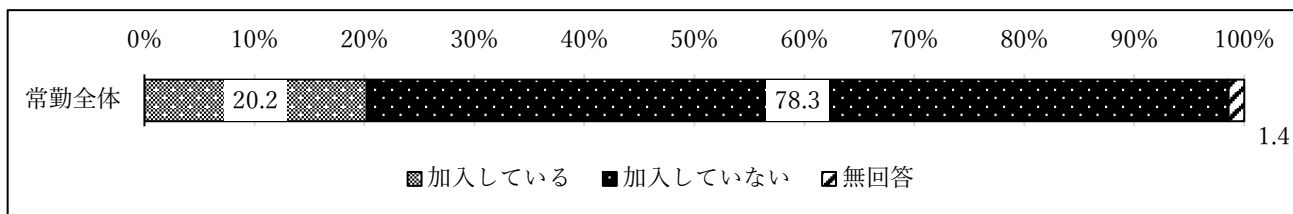


図 3-15-1 自賠償保険に加入していますか（常勤）

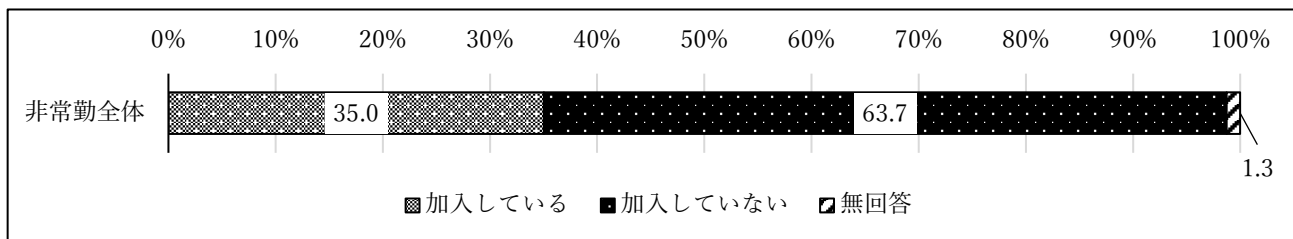


図 3-15-2 自賠償保険に加入していますか（非常勤）

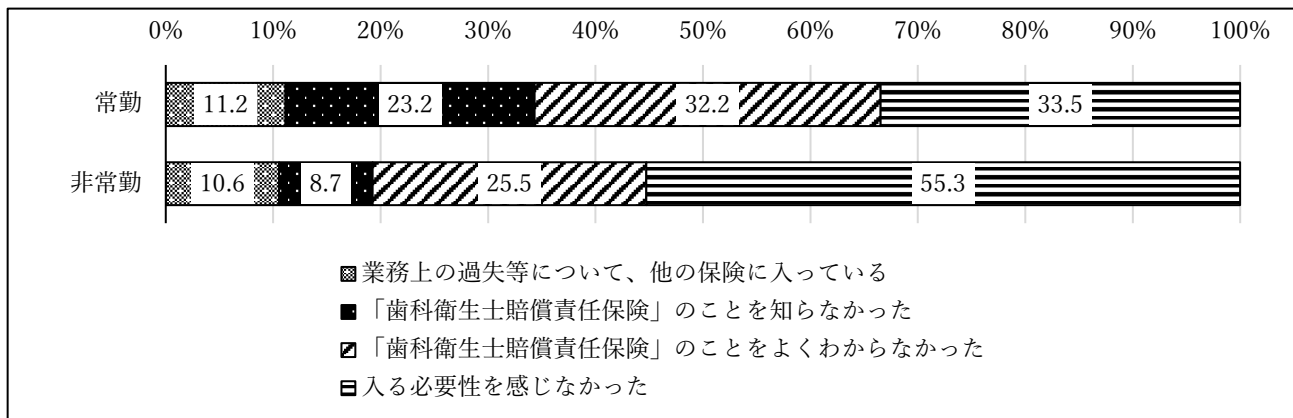


図 3-15-3 自賠償保険に加入しない理由は何ですか（複数回答）

IV 医療安全・感染予防

1. 医療安全

就業先において医薬品安全管理者になっている者は、常勤 6.0%、非常勤 1.3%であった。その他は管理者でないと回答した（図 4-1-1, 4-1-2）。常勤の就業別では、障害者歯科診療所等に該当者が多かった（図 4-1-1）。

医療機器安全管理者になっている者は少なく、なっていない者は、常勤 69.1%、非常勤 70.7%であった。（図 4-1-3, 4-1-4）。また、就業先で医療安全に係る研修を受けている割合は、常勤 35.6%、そのうち病院・大学病院に勤務しているものが多数であった（図 4-1-5）。非常勤 21.3%であった（図 4-1-6）。

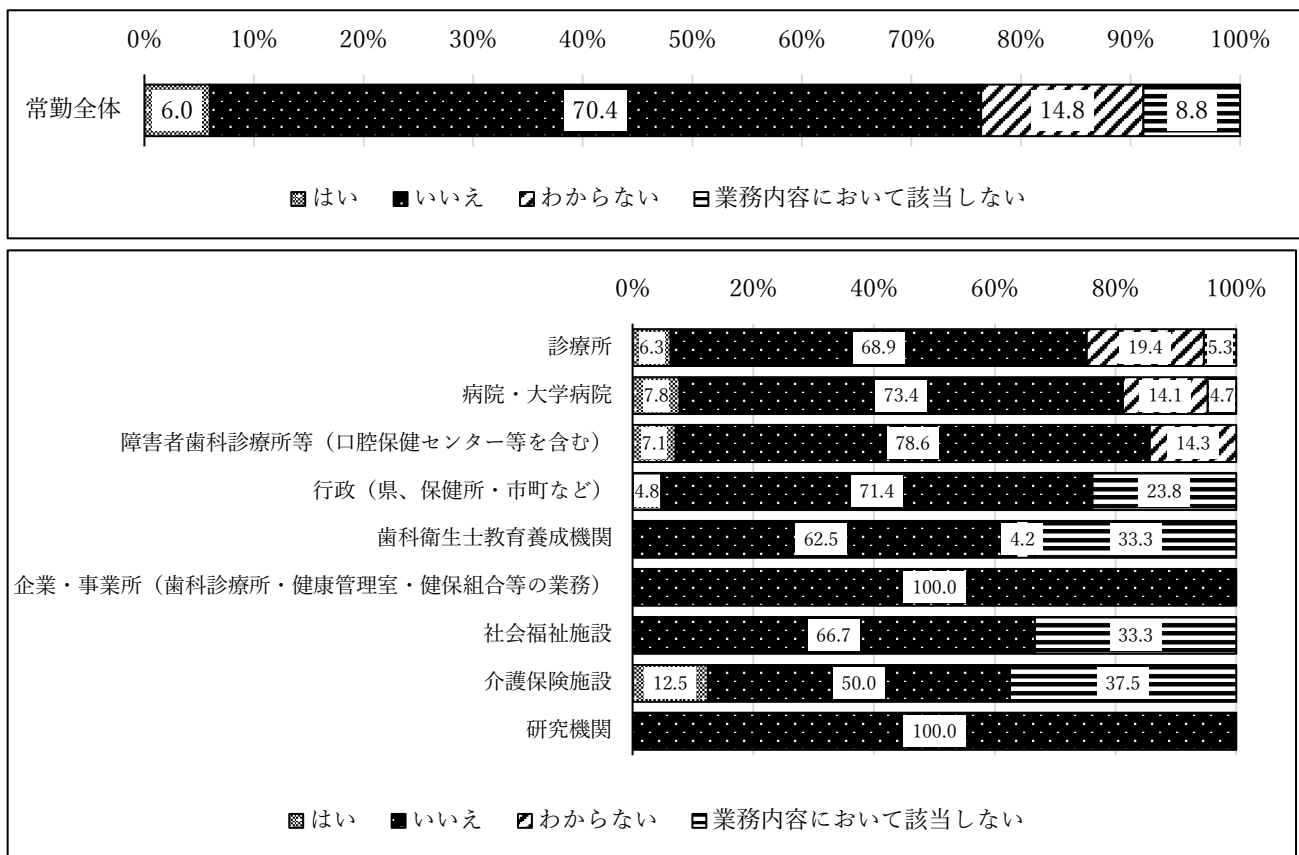


図 4-1-1 就業先において医薬品安全管理者になっていますか（常勤）

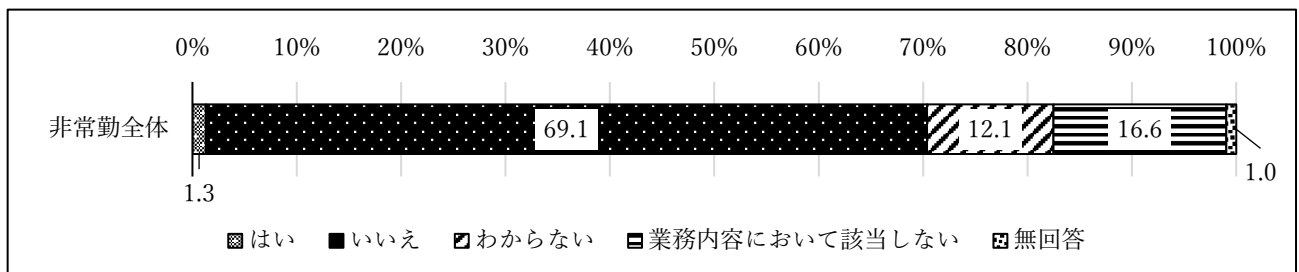


図 4-1-2 就業先において医薬品安全管理者になっていますか（非常勤）

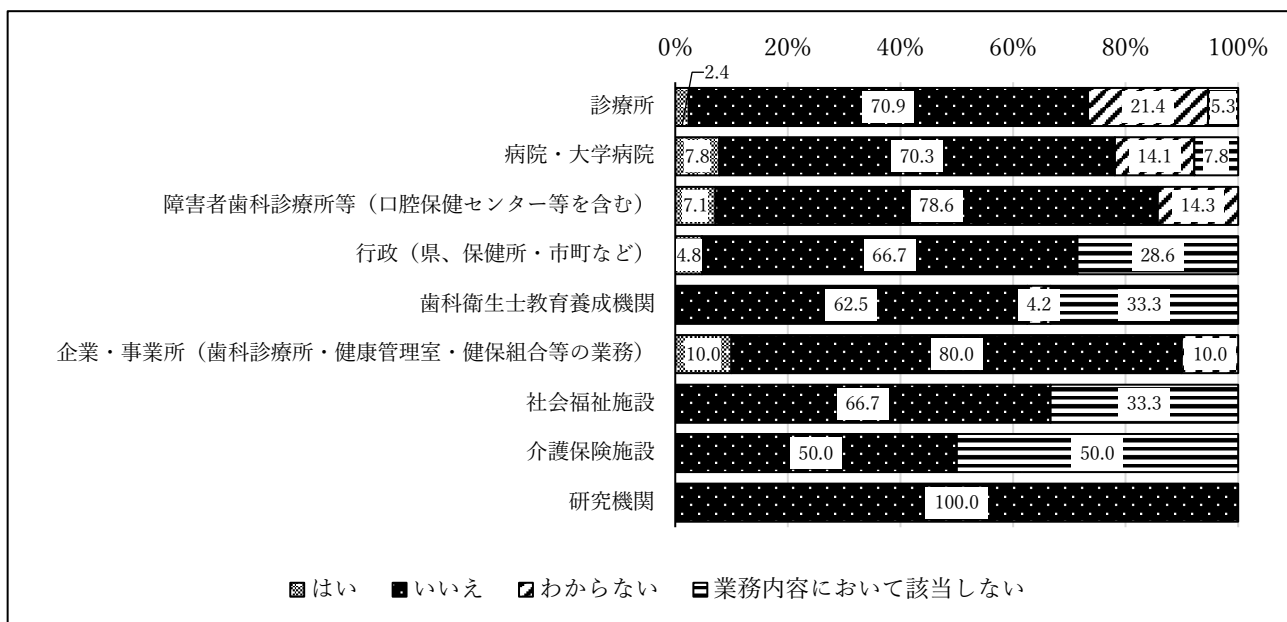
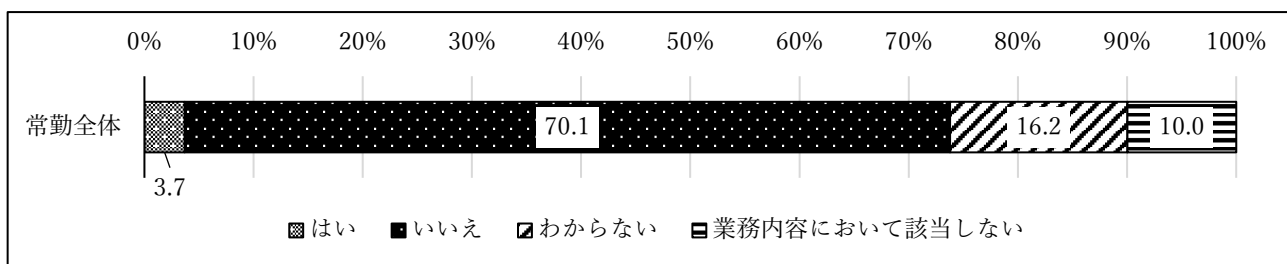


図 4-1-3 就業先において医療機器安全管理者になっっていますか（常勤）

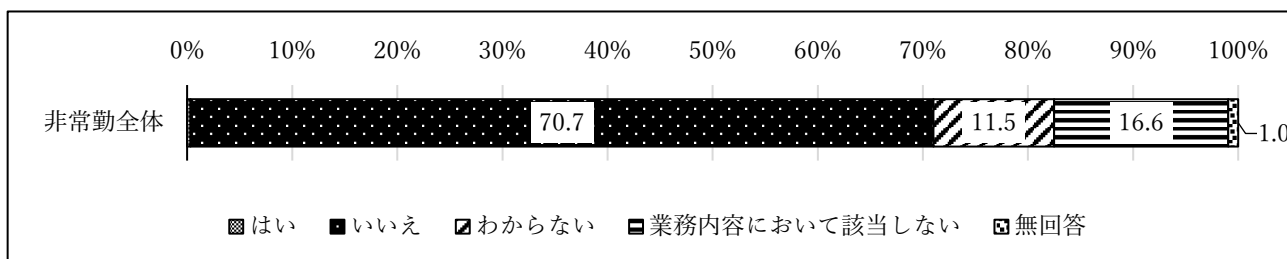


図 4-1-4 就業先において医療機器安全管理者になっっていますか（非常勤）

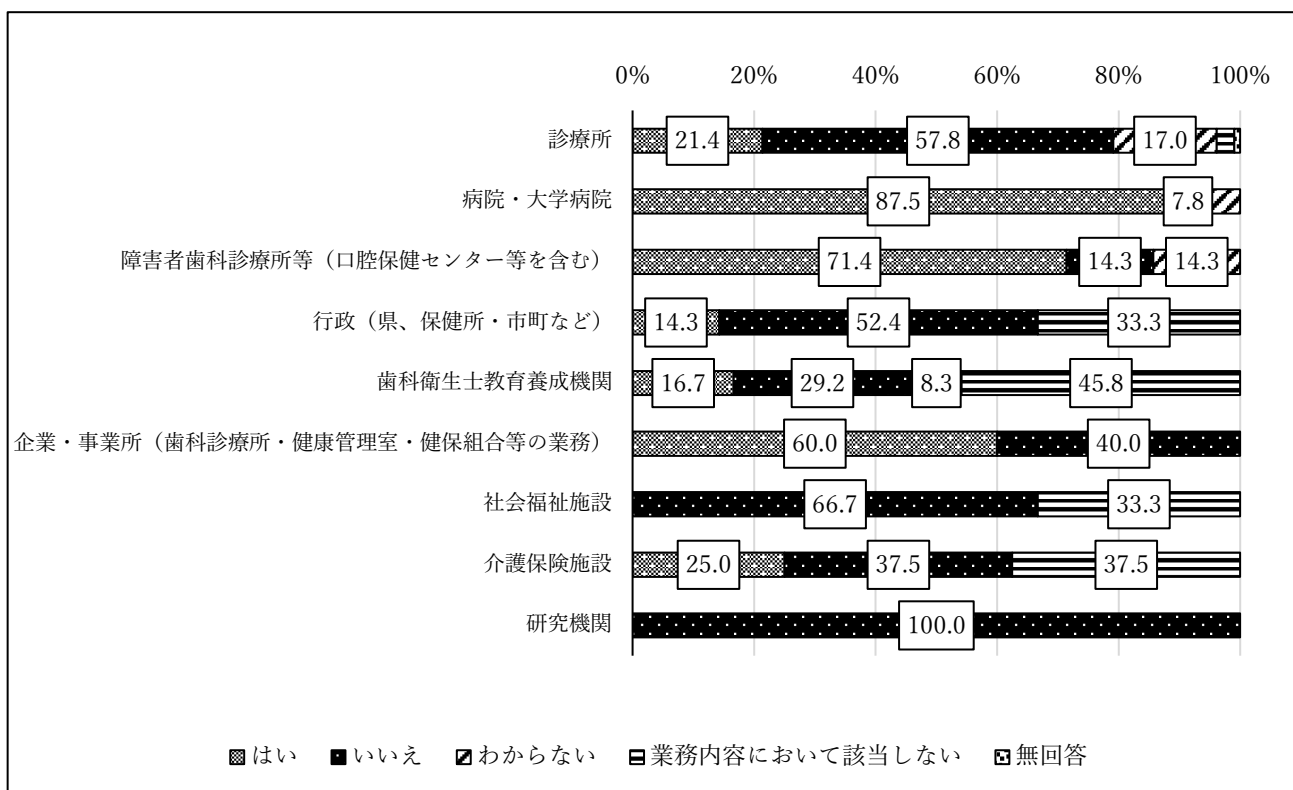
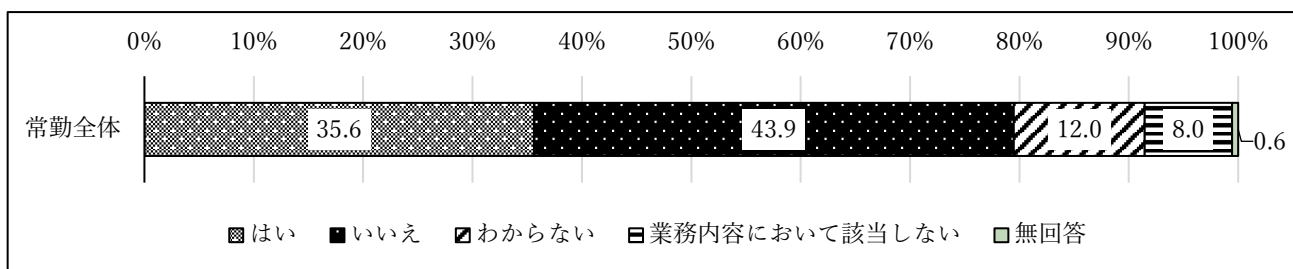


図 4-1-5 就業先において医療安全に係る研修を受けていますか（常勤）

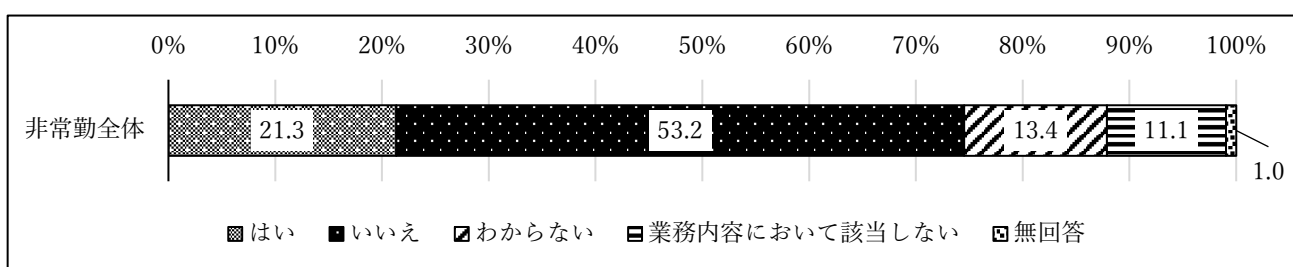


図 4-1-6 就業先において医療安全に係る研修を受けていますか（非常勤）

2. 感染予防

感染対策に関する院内マニュアルの理解については、常勤 68.1%が理解していると回答し、そのうち病院・大学病院勤務が 90.6%であった（図 4-2-1）。非常勤 58.3%が理解していると回答した（図 4-2-1）。

また、感染予防対策として用いているものについては、常勤と非常勤で大きな差はなく、主にマスク・ゴーグル・グローブ・フェイスシールドがどの施設においても使用されていた（図 4-2-3、4-2-4）。

注射針の処理については、常勤・非常勤ともに「歯科衛生士がキャップを手で持ってキャップしてから処理」という回答が最も多かった。病院・大学病院では「歯科衛生士が、注射針回収容器等を使用し、直接針に触れずに処理」という回答が 52.4%であった（図 4-2-5、4-2-6）。

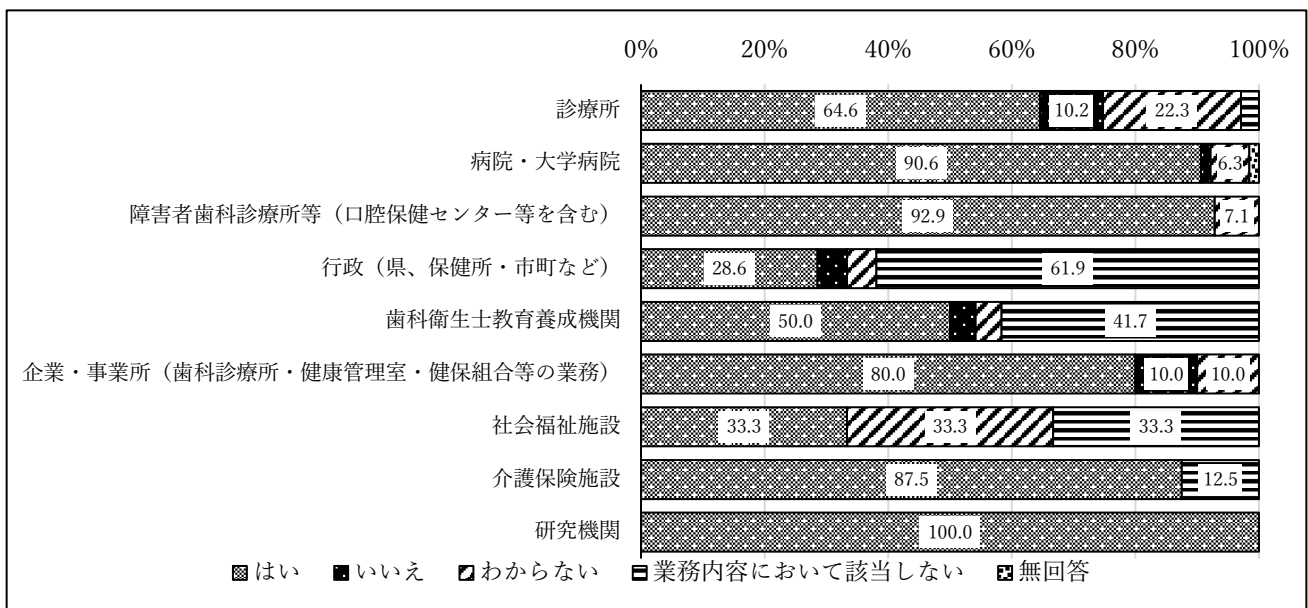
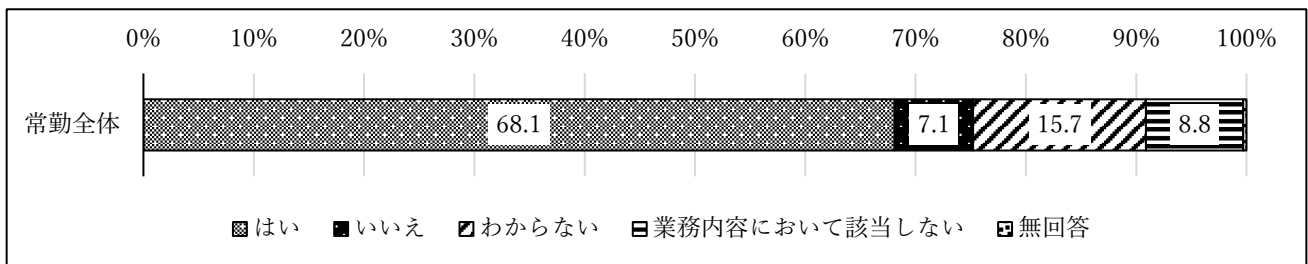


図 4-2-1 感染対策に関する院内マニュアルを理解していますか（常勤）

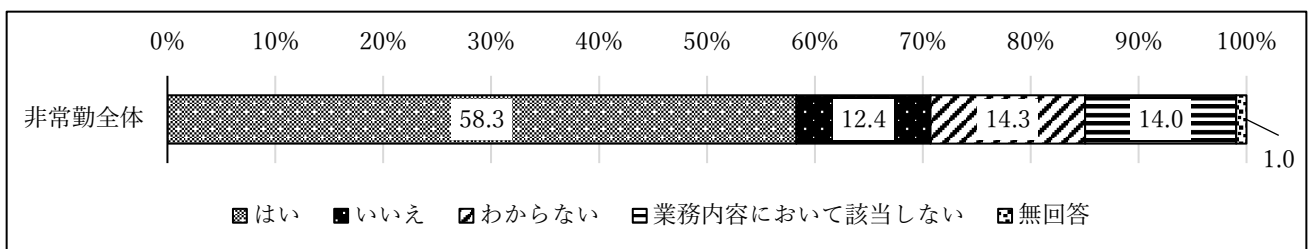


図 4-2-2 感染対策に関する院内マニュアルを理解していますか（非常勤）

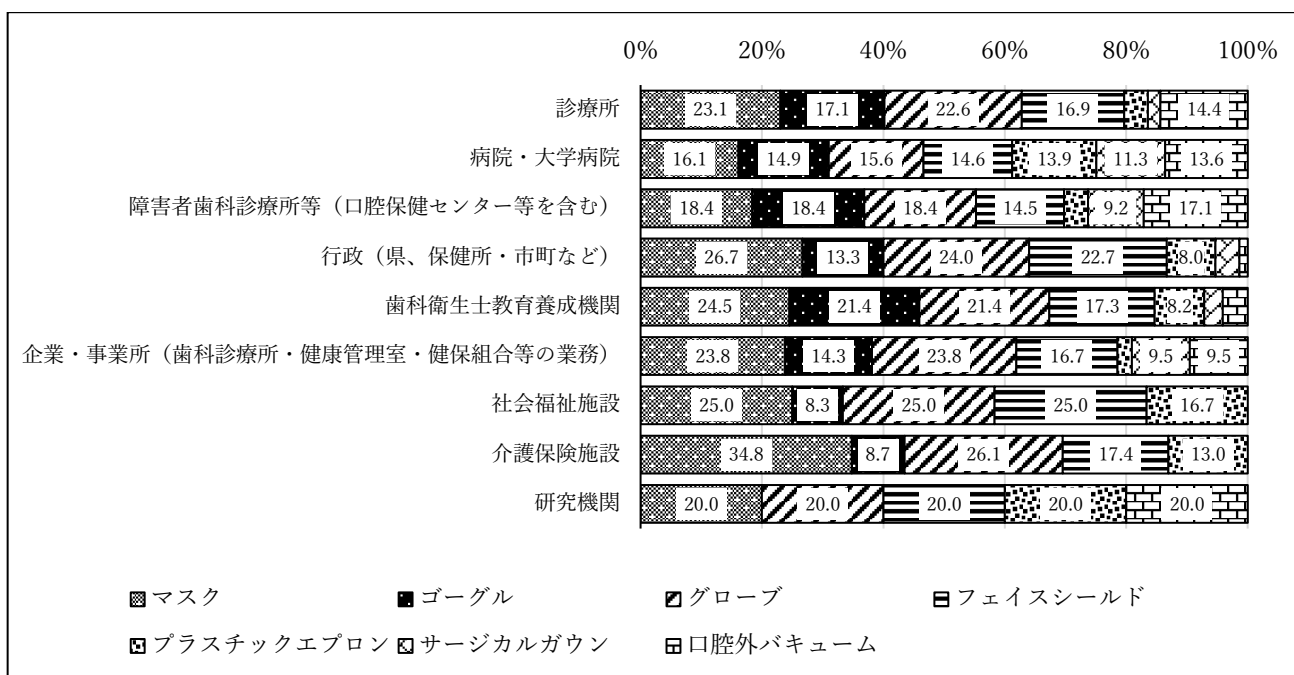
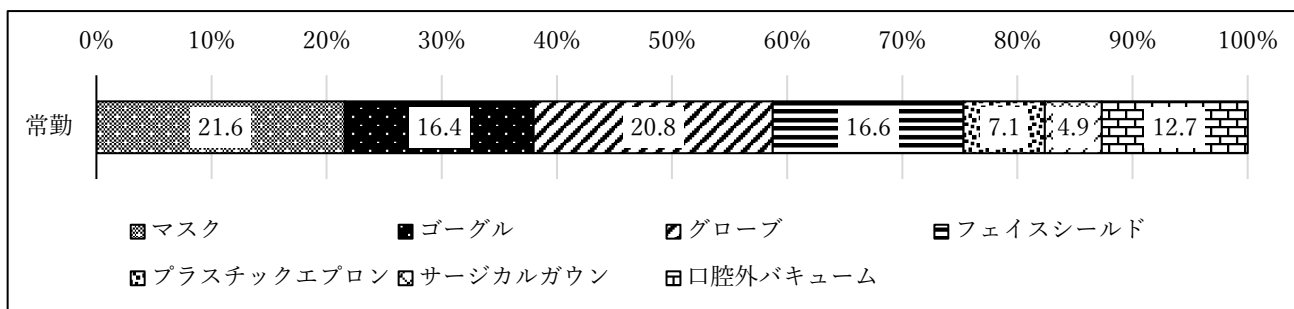


図 4-2-3 感染予防対策として使用しているものは何ですか (複数回答) (常勤)

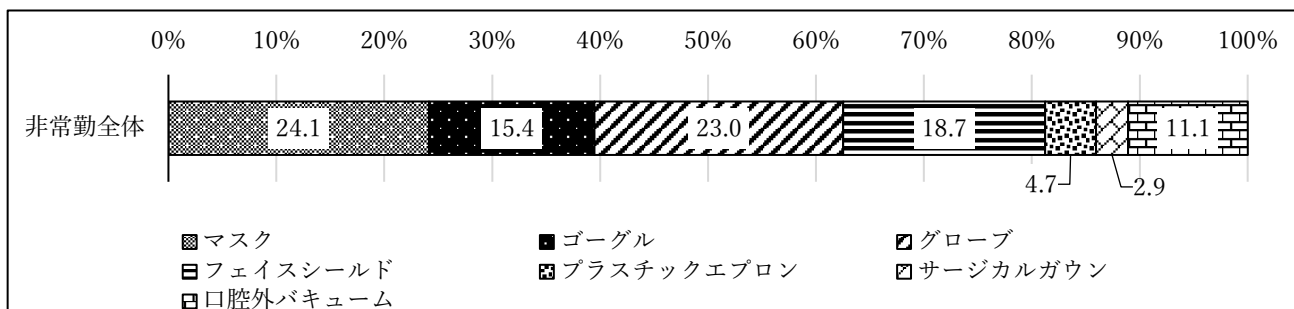


図 4-2-4 感染予防対策として使用しているものは何ですか (複数回答) (非常勤)

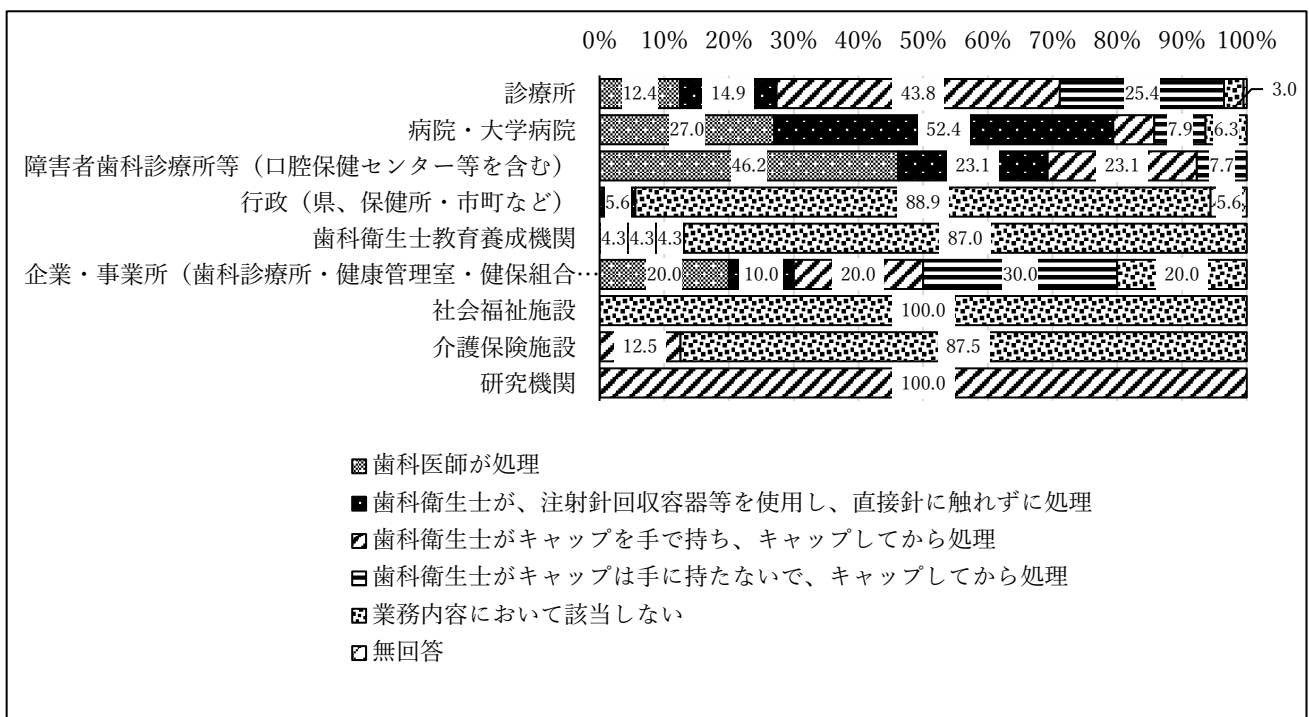
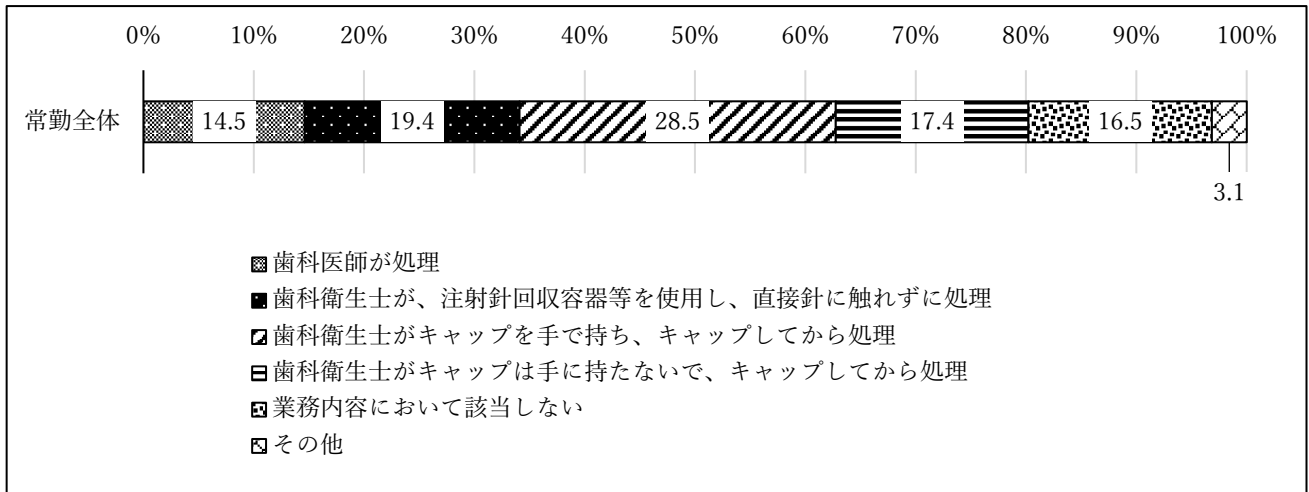


図 4-2-5 使用後の注射針は主にどのように処理をしていますか（常勤）

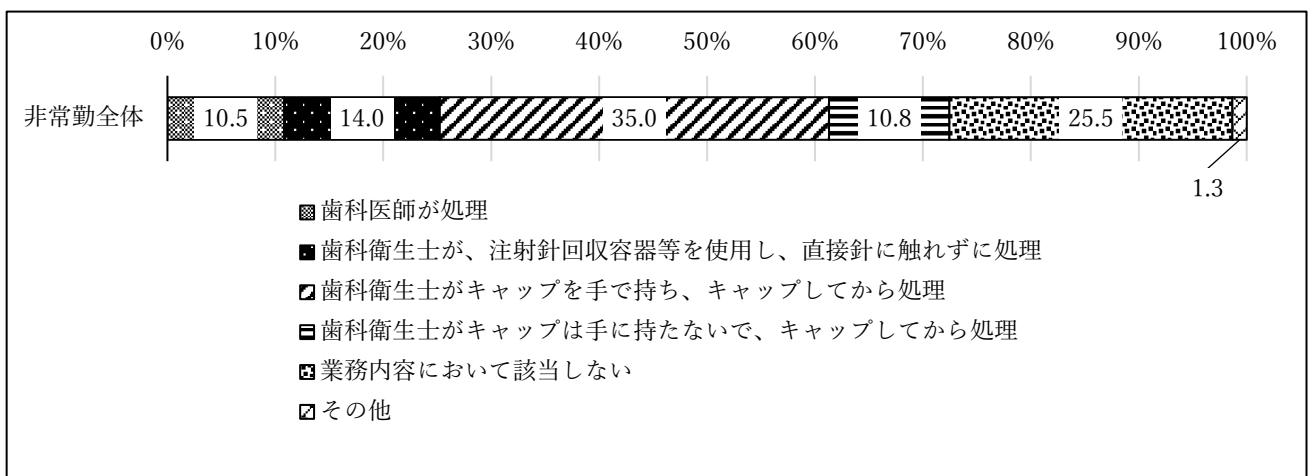


図 4-2-6 使用後の注射針は主にどのように処理をしていますか（非常勤）

3. 新型コロナウイルス感染症

新型コロナウイルス感染症の感染拡大によって、常勤・非常勤ともに標準予防策以上の対応が求められていた。非常勤 18.2%が「勤務日数が減った」と回答した（図 4-3-1）。

歯科診療所において、クラスターが発生しなかった要因としては、従来からの感染予防対策と、標準予防策以上の対策をしていたからという回答が多かった（図 4-3-2）。

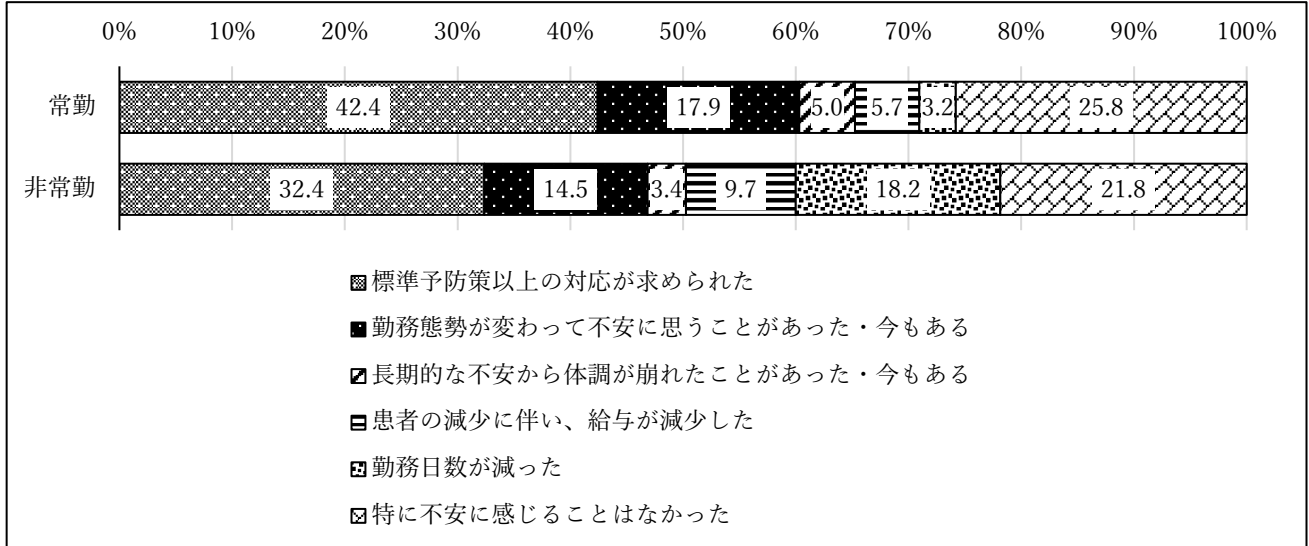


図 4-3-1 新型コロナウイルス感染症に対して不安に感じたことは何ですか（複数回答）

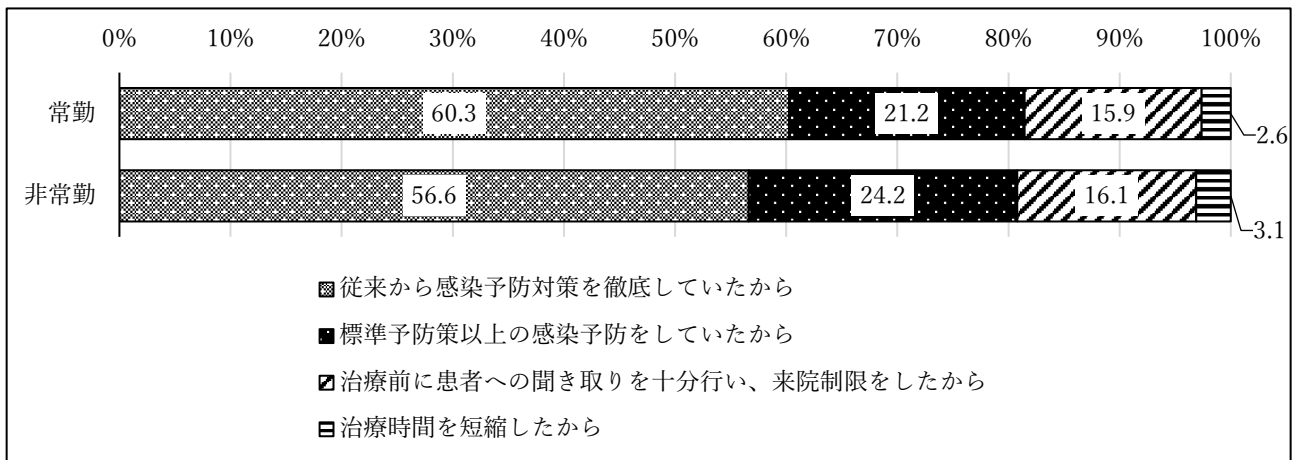


図 4-3-2 歯科診療所でクラスターが発生しなかった要因は何だと思えますか（複数回答）

V 研究活動

1. 学会・研修会

学会および研修会への参加は、常勤 63.5%、非常勤 65.3%、未就業 25.9%であった（図 5-1-1）。1年の参加回数は5回未満が多く、今年度に関してはリモート開催も多く認められた（図 5-1-2, 5-1-3）。また、研修会の主催は兵庫県歯科衛生士会が最も多く、学会についても日本歯科衛生学会学術大会への参加率が最も多かった（図 5-1-4, 5-1-5）。

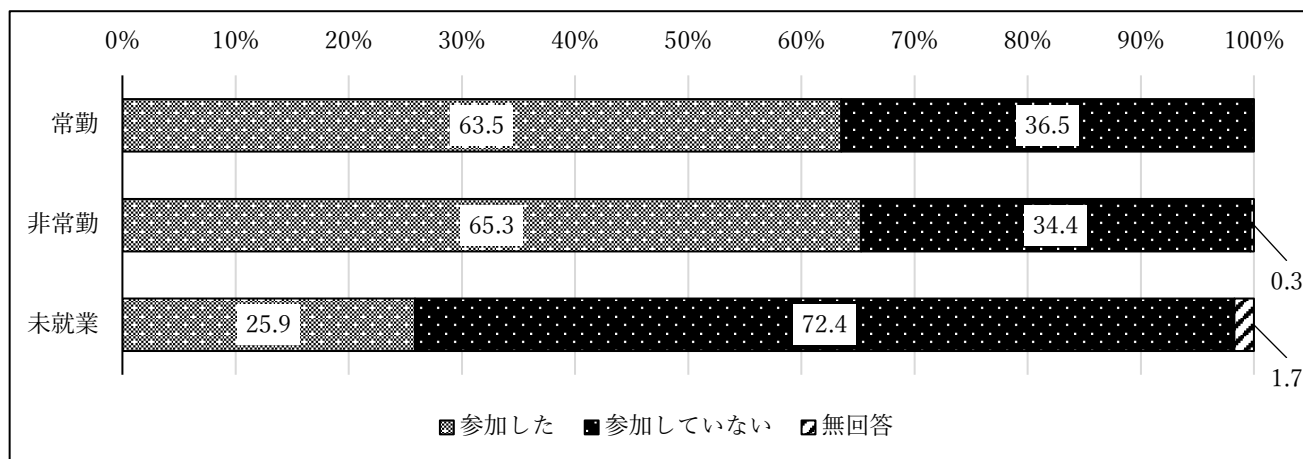


図 5-1-1 この1年間で学会や研修会に参加しましたか

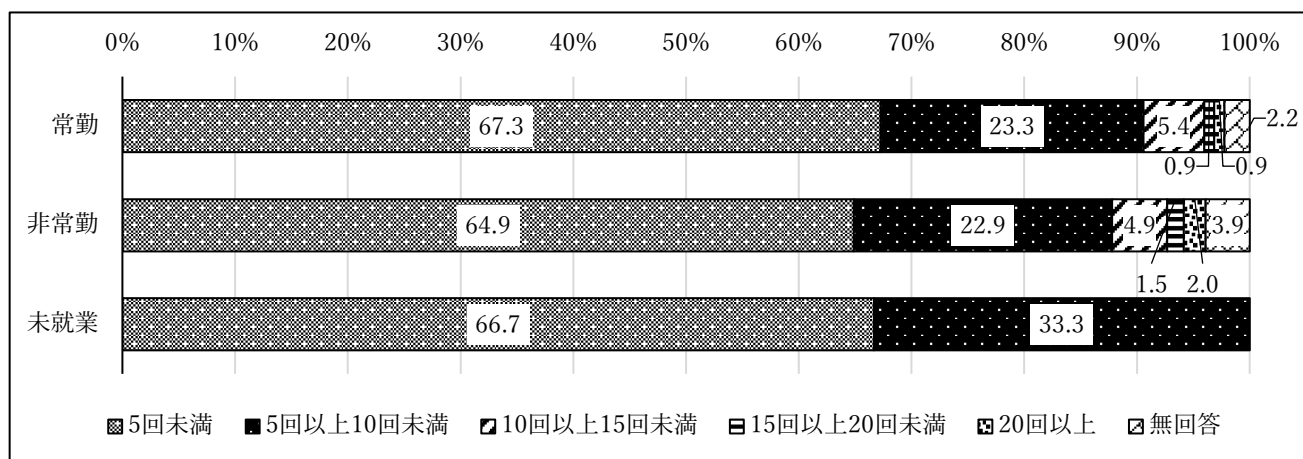


図 5-1-2 参加した場合、1年に何回ですか

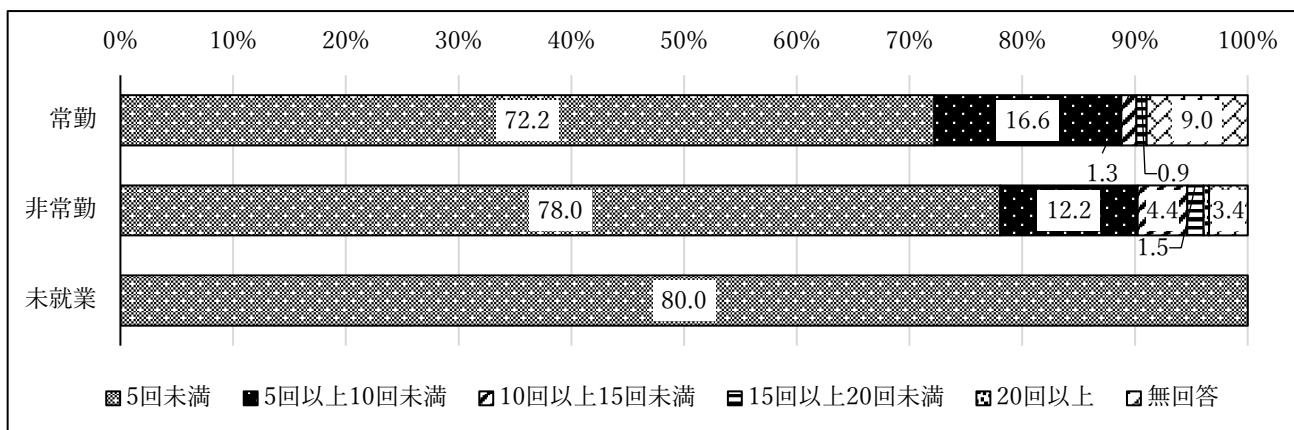


図 5-1-3 参加した学会のうち、リモート開催は何回でしたか

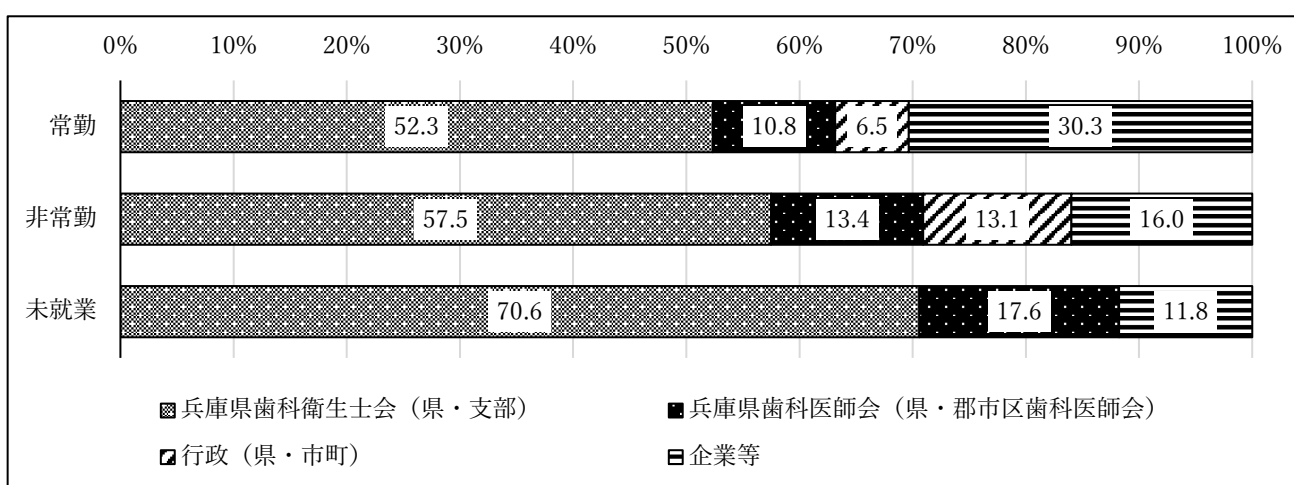


図 5-1-4 研修会に参加した場合、その主催はどこですか (複数回答)

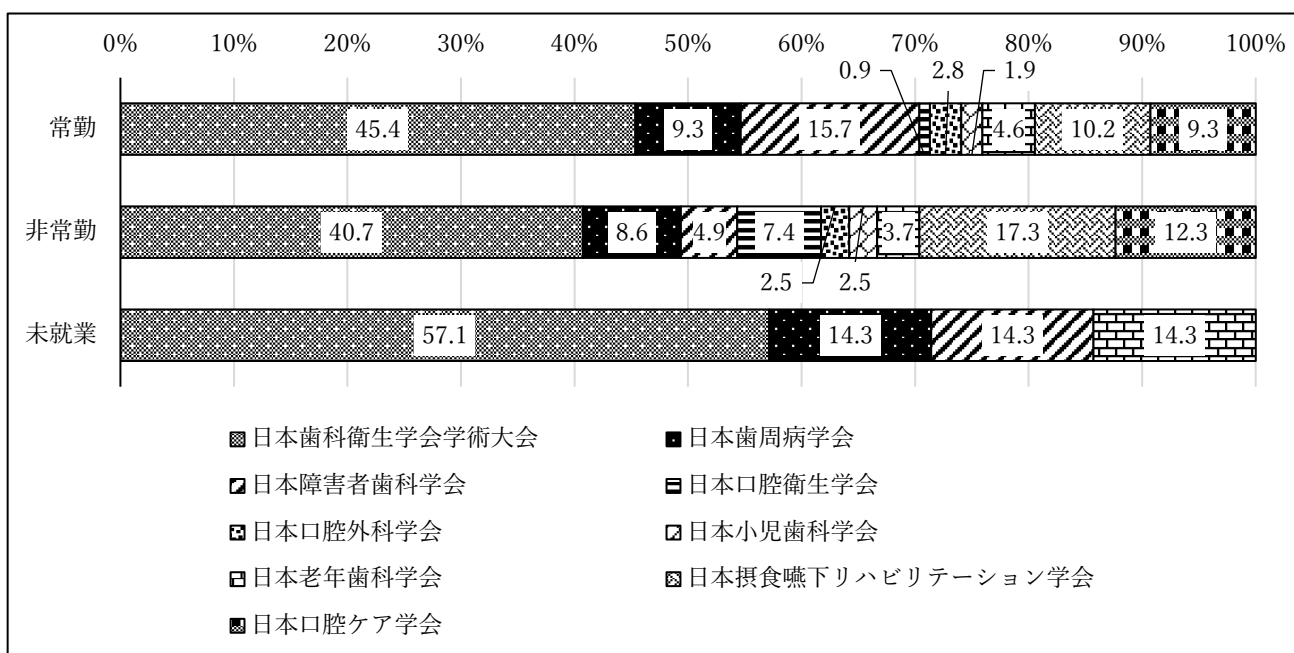


図 5-1-5 学会に参加・発表した場合、どの学会ですか (複数回答)

2. 認定資格

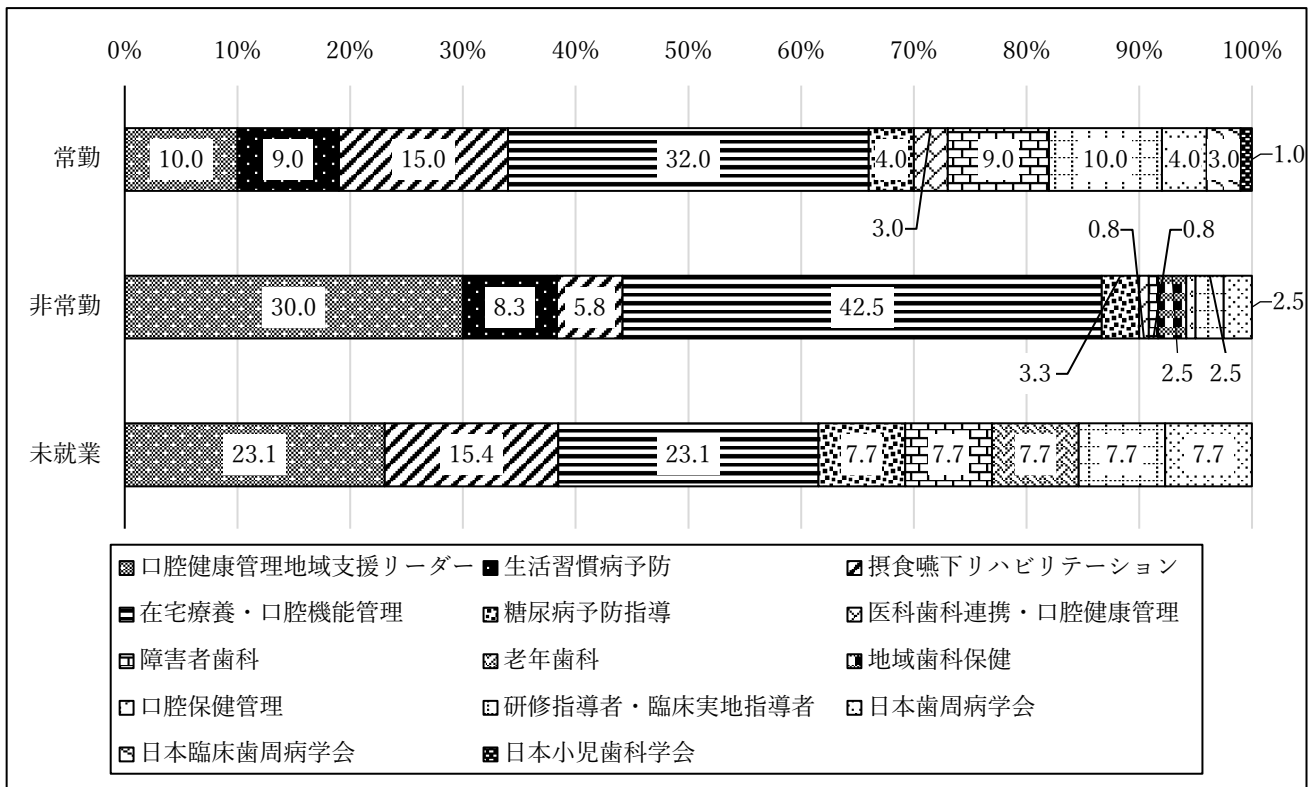


図 5-2 取得している認定はどれですか（複数回答）

VI 兵庫県歯科衛生士センター

本項目は、令和2年度に創設した歯科衛生士センターについて調査した。認知度について、どの就業形態においても約半数は「知らない」もしくは「名前は知っているが、よくわからない」と回答した(図6-1)。登録者は、常勤24.5%、非常勤36.8%、未就業13.8%であった(図6-2)。登録していない一番の理由としては「必要性を感じない」という回答が多かった(図6-3)。

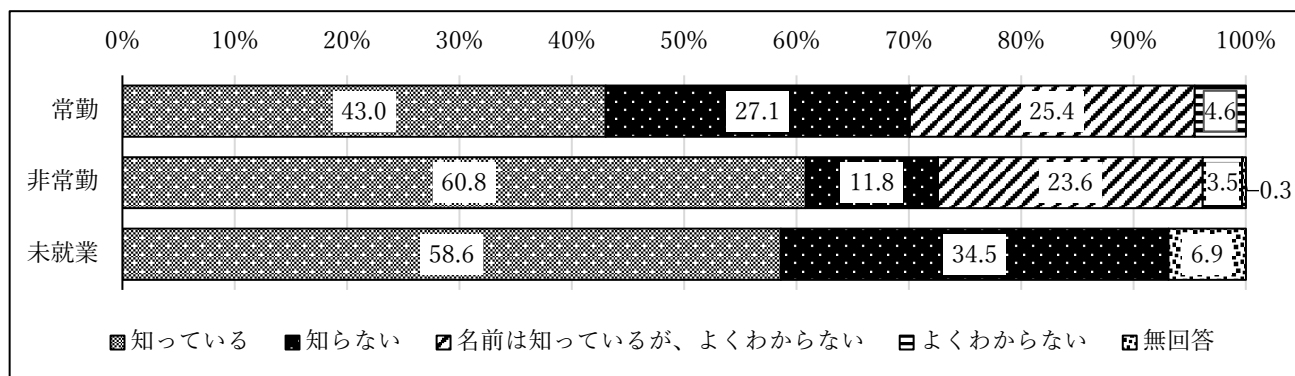


図 6-1 兵庫県歯科衛生士センター（令和2年創設）を知っていますか

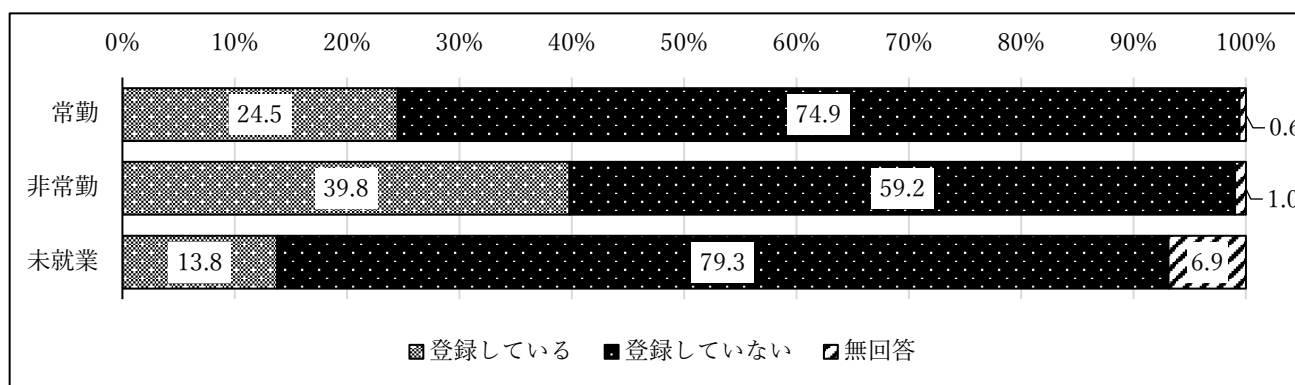


図 6-2 兵庫県歯科衛生士センターに登録していますか

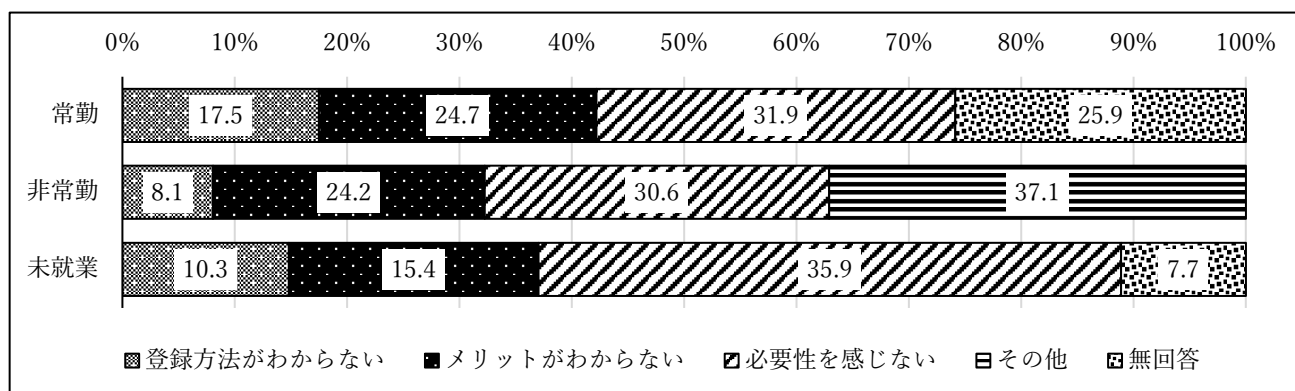


図 6-3 登録していない理由はなんですか

VII 意識調査

本項目は、歯科衛生士という職業に対する意識調査の結果を示す。歯科衛生士という職業が好きかという問いに対して、常勤よりも非常勤の方が「非常にそう思う」「そう思う」と答えた者の割合が5%高かった（図7-1）。歯科衛生士として働くことに向いていると思うかという問いに対して、常勤と非常勤で大きな差はなかったが、未就業は「どちらともいえない」43%と高かった（図7-2）。私生活と仕事のバランスは両立しているかという問いに対して、常勤よりも非常勤の方が「非常にそう思う」「そう思う」と答えた者の割合が17%高かった（図7-3）。

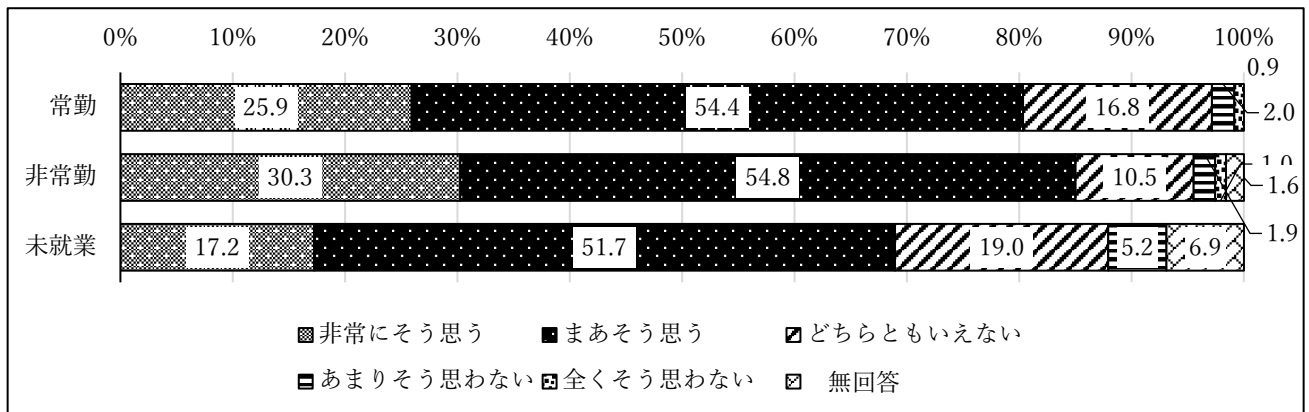


図7-1 歯科衛生士という仕事が好きですか

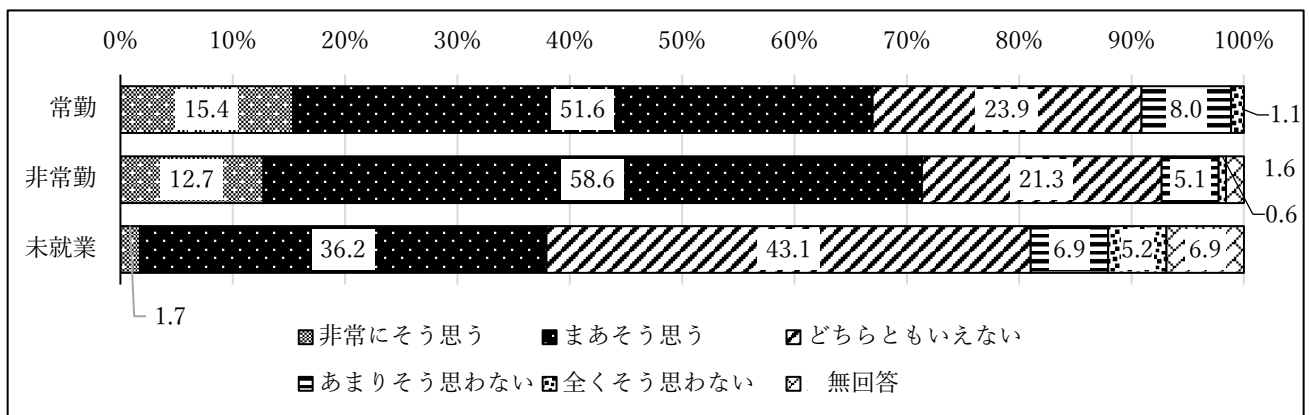


図7-2 歯科衛生士として働くことに向いていると思いますか

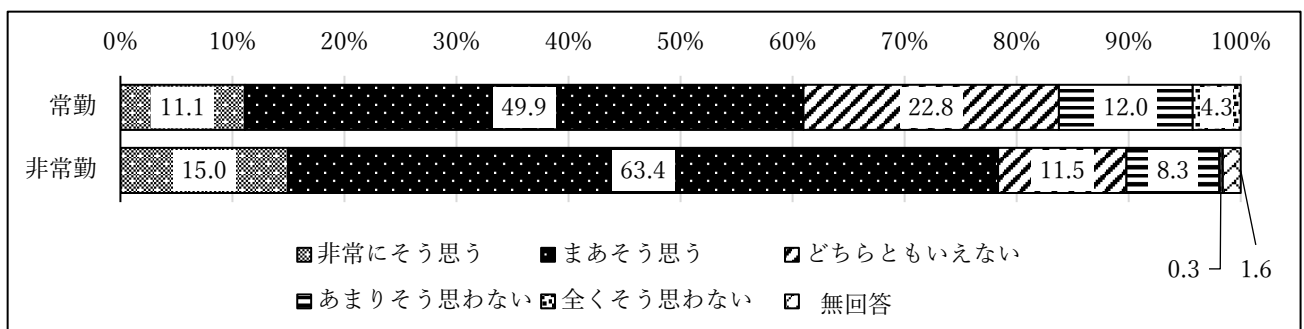


図7-3 私生活と仕事のバランスは両立していますか

第5回
歯科衛生士勤務等実態調査結果
報告書

発行 公益社団法人兵庫県歯科衛生士会
TEL 078-341-6471
FAX 078-945-7871
E-mail hdha@silver.ocn.ne.jp
発行日 令和4年3月31日